

平成 29 年度（平成 28 年度実施事業）

小城市教育委員会の事務に関する
点検・評価報告書

平成 29 年 9 月

小 城 市 教 育 委 員 会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、平成 28 年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行ったので、その結果について報告します。

平成 29 年 9 月 28 日

小 城 市 教 育 委 員 会

目 次

1 点検・評価の概要	1
2 評価結果	
(1) 教育委員会の活動及び会議運営状況評価	3
(2) 施策の総合評価	
○ 学校教育課	
1. 学校教育の充実	7
○ 教育総務課	
1. 学校教育の充実・2. 子育て支援の充実	8
○ 保育幼稚園課	
2. 子育て支援の充実・3. 保育・幼児教育の充実	9
○ 生涯学習課	
4. 青少年の健全育成・5. 生涯学習の充実・6. 生涯スポーツ の充実・7. 芸術・文化の振興と文化財の保護・活用	10
○ 文化課	
5. 生涯学習の充実・7. 芸術・文化の振興と文化財の保護・活用	12
(3) 基本事業評価	
◎ 平成28年度小城市教育委員会所管事務事業 番号一覧	15
1. いきいき学ぶ学校教育の推進	16
2. 学校教育環境の整備充実	27
3. 子育て支援と保育・幼児教育の充実	29
4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実	39
5. 多彩な文化の振興と伝統文化の継承	58

1 点検・評価の概要

平成 18 年 12 月の教育基本法の改正と平成 19 年 3 月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成 19 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、教育委員会の責任体制の明確化を目的として「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」を行うよう定められ、さらに平成 27 年 4 月に新教育委員会制度への移行に伴う法改正においても変わることなく、同法第 26 条において「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」と定められ、同条第 2 項で「前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」とされています。

そこで、小城市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を実施し、市民への説明責任を果たすと同時に、今後重点化を図っていかなければならない取り組みの方向性を明確にすることにより、市民の求める質の高い教育を目指していきます。

(1) 点検・評価の対象

- ① 平成 28 年度における小城市教育委員会の活動と教育委員会会議の運営状況
- ② 平成 28 年度における小城市教育振興基本計画に基づく施策及び基本事業（31 事業）

(2) 点検・評価の方法

平成 25 年 2 月に策定した「小城市教育振興基本計画」に定める施策に関する基本事業ごとに活動状況を点検し、自己評価を行った結果について、教育に関し学識経験を有する者で組織する評価委員会において評価を実施しました。

【評価委員会委員の構成】

区 分	氏 名	職 名 等
委員長	福 本 敏 雄	西九州大学学生支援部長 スポーツ健康福祉学科教授
副委員長	常 松 厚 生	小城市主任児童委員・元社会教育指導員・元小学校長
委 員	中牟田 正 彦	小城市民生委員・児童委員
委 員	小 柳 容 子	小城町人づくり塾副塾長・小城市社会教育委員
委 員	古 川 久美子	津の里ミュージアム指導員

(3) 自己評価及び評価委員会の経過

○平成 29 年 6 月 26 日（月）～7 月 14 日（金）

- ・教育委員会の運営状況について、教育委員による自己評価の実施
- ・基本目標ごとの各課自己評価について、教育長・部長ヒアリングの実施

○平成 29 年 7 月 28 日（金）

第 1 回評価委員会の開催

- ・小城市教育委員会の事務に関する点検・評価について説明
- ・平成 28 年度小城市教育委員会所管事務事業の執行状況報告及び質疑応答

○平成 29 年 8 月 8 日（火）

第 2 回評価委員会の開催

- ・平成 28 年度小城市教育委員会所管事務事業の執行状況報告及び質疑応答

○平成 29 年 8 月 23 日（水）

第 3 回評価委員会の開催

- ・第 1 回・第 2 回評価委員会会議録の確認について
- ・評価委員による意見交換、集約
～平成 29 年度（平成 28 年度実施事業）小城市教育委員会の事務に関する点検・評価～

○平成 29 年 9 月 1 日（金）

- ・小城市教育委員会評価委員会から小城市教育委員会の事務に関する点検・評価結果の報告

○平成 29 年 9 月 4 日（月）～9 月 8 日（金）

- ・点検・評価結果の報告を受けて、評価を踏まえた平成 29 年度以降の取り組みの方向性について、教育委員会事務局で検討し、決定

○平成 29 年 9 月 28 日（木）

- ・定例教育委員会に於いて、平成 29 年度以降の取り組みの方向性も含め “平成 29 年度（平成 28 年度実施事業）小城市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について協議し、報告書を承認

2 評価結果

(1) 教育委員会の活動及び会議運営状況評価

平成28年度 教育委員会の活動と会議運営の状況評価

項目	(1) 教育委員の活動	主管課	教育総務課												
制度概要	<p>(1) 教育委員は、レイマン（学識・経験が豊かで人格が高潔だが必ずしも教育の専門家ではない者）と、教育長の計5人（条例により県・市は6人可）で構成する。また、委員の中に保護者を含まなければならないとされている。小城市教育委員会は教育委員6人（うち女性委員2人、保護者代表1人）で構成している。</p> <p>(2) 教育委員は、市長が議会の同意を得て任命している。</p> <p>(3) 委員長は、1年任期で、毎年教育委員の中から選挙により選出する。</p> <p>(4) 教育長は、委員長以外の教育委員から教育委員会が任命する。</p> <p>(5) 教育委員会が会議を通して合議で決定した事項を、教育長が事務局を指揮監督して執行する。</p> <p>(6) 新教育委員会制度が平成27年度から始まっているが、小城市教育委員会は、前教育長の任期期間中は、従前の教育委員会制度で運用し、平成29年6月に新制度に移行する。</p>														
これまでの取り組み状況	<p>(1) 『小城市教育振興基本計画』を平成25年2月に策定し、小城市教育の目指す指針を決定し、これを基本に事業を推進している。また、平成29年度以降の指針については総合計画にあわせ『第2次小城市教育振興基本計画』を平成29年2月に策定した。</p> <p>(2) 次年度当初予算に反映させるため、次年度に向けての『小城市教育の基本方針』を早めに決定し、新年度当初からの業務遂行指針とした。</p> <p>(3) 第三者評価委員会の評価結果は11月に議会へ報告し、次年度業務にかかる企画立案、予算要求に反映させた。</p> <p>(4) 教育委員（教育長を除く）の研修会、視察、各種行事等への参加、学校や保育園・幼稚園の行事については、時期が集中するなど教育委員の負担が大きくなりがちなため、参加行事の割り当てを行い、負担軽減に努めた。</p> <p>① 研修・視察 教育委員自主研修会（地域とともにある学校づくり推進フォーラム） 市町村教育委員会研究協議会第2ブロック（11/17～18 高知県）、県市町教委連研修、人権同和教育推進等各種研修会</p> <p>② 業務の説明・研究発表会等 学校長による学校経営説明会、小城市学力向上研究発表会等</p> <p>③ 小・中学校、幼稚園、保育園の訪問 経営状況・授業参観、研究討議、問題点・課題検討</p> <p>④ 学校・幼稚園・保育園行事への参加 小・中学校・幼稚園・保育園等の入学・卒業式、入園・卒園式、運動会・夏季総合体育大会及び文化祭等の各種行事</p> <p>⑤ 文化・体育行事への参加・激励 遺跡発掘現地説明会、佐賀大学・小城市交流事業開場式、ふれあい芸能まつり、市民体育大会、県民体育大会、県内一周駅伝、市内4町民運動会 等</p> <table border="1" data-bbox="392 1637 1398 1827"> <thead> <tr> <th data-bbox="392 1637 759 1749">教育委員行事出席数 (延べ件数、教育長は常勤のため除く)</th> <th data-bbox="759 1637 890 1749">24年度</th> <th data-bbox="890 1637 1021 1749">25年度</th> <th data-bbox="1021 1637 1152 1749">26年度</th> <th data-bbox="1152 1637 1283 1749">27年度</th> <th data-bbox="1283 1637 1398 1749">28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="392 1749 759 1827">出席した行事数</td> <td data-bbox="759 1749 890 1827">494</td> <td data-bbox="890 1749 1021 1827">502</td> <td data-bbox="1021 1749 1152 1827">442</td> <td data-bbox="1152 1749 1283 1827">442</td> <td data-bbox="1283 1749 1398 1827">424</td> </tr> </tbody> </table>			教育委員行事出席数 (延べ件数、教育長は常勤のため除く)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	出席した行事数	494	502	442	442	424
教育委員行事出席数 (延べ件数、教育長は常勤のため除く)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度										
出席した行事数	494	502	442	442	424										
平成28年度中の重点的な取り組みと成果等	<p>(1) 平成29年度上半期の教育長、教育委員の任期満了を控え、新教育委員会制度への移行を踏まえて、市長部局と調整しながら平成29年度の任命、制度移行の準備を行った。</p> <p>(2) 教育委員の学校・幼稚園訪問を平成28年度は15回行い、教育委員の感想等を各学校、幼稚園へ情報提供を行った。</p> <p>(3) 教育委員会と学校職員の意見交換会を実施した。</p>														

<p>重点的な取り組みを踏まえての課題と反省点</p>	<p>(1) 教育委員を選定するにあたり、その要件を満たすことができる人材は限られており、教育行政を発展・継続させるうえでも重要な案件である。</p> <p>(2) 教育委員の学校訪問は、教育委員の協力のもと有意義に進めることができた。教育委員の学校訪問の感想を取りまとめ、各学校に情報提供を行うことで、「外部から見た学校運営」について学校側とも共有する事ができた。学校側からも、教育現場への取り組み等に大いに参考となる意見を頂いたという事で継続を望まれており、次年度以降も引き続き実施していく。</p> <p>(3) 教育委員会と学校職員の意見交換会については平成 28 年度も実施できた。保護者の意見については教育長が P T A 役員等と意見交換等を行った。今後は、P T A 役員と教育委員、社会教育委員との接点が増やせるよう、意見交換会等も含め検討を進める。</p>
<p>自己評価</p>	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>
<p>評価委員会による評価</p>	<p>『第 2 次小城市教育振興基本計画』を平成 29 年 2 月に策定したこと、次年度当初予算に反映させるため、次年度に向けての『小城市教育の基本方針』を早めに決定したこと、第三者評価委員会の評価結果は 11 月に議会へ報告し、次年度業務にかかる企画立案、予算要求に反映させたこと、教育委員（教育長を除く）の研修会、視察、各種行事等への参加、学校や保育園・幼稚園の行事については、時期が集中するなど教育委員の負担が大きくなりがちなため、参加行事の割り当てを行い、負担軽減に努め、① 研修・視察、② 学校経営の説明・研究発表会等参加、③ 小・中学校、幼稚園、保育園の訪問、④ 各行事への参加、⑤ 文化・体育行事への参加・激励など多岐にわたる業務を例年通り遂行した。</p> <p>教育現場の向上のため、十分に活動がされていると思う。学校職員との意見交換会など今後より良い教育へとつながってほしい。また、PTA 役員との意見交換も行われており、現場に沿った教育が行われていくことを希望する。</p>
<p>評価判定</p>	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>
<p>評価を踏まえた平成 29 年度以降の取り組みの方向性</p>	<p>次年度の教育委員会の方針については、平成 28 年度に策定した小城市教育振興基本計画に基づき、総合教育会議にて大綱の方針を確認しながら決定していく。</p> <p>また、引き続き教育委員としての知識習得のための各種研修会等へ積極的に参加する。一方で、参加行事の負担軽減については教育委員間の調整を行い負担軽減に努める。</p>

項 目	(2) 教育委員会の会議運営	主管課	教育総務課
制度概要	<p>教育の機会均等、教育水準の維持向上、地域の実情に応じた教育に関する施策の策定・実施、その実施にかかる財政上の措置などを実施する合議制の執行機関として教育委員会が設置され、その会議において、教育行政に関する基本方針等を決定する。</p> <p>〔地方教育行政の組織及び運営に関する法律〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議は委員長が招集し、委員の過半数の出席を要する。 ・会議は原則公開であるが、人事案件その他の事件については公開しないことができる。 ・教育委員会は、教育委員会規則で会議の運営に関する事項を定め、執行している。 <p>(参考)</p> <p>〔地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正による新教育委員会制度の概要〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度から施行。ただし、小城市教育委員会は、前教育長の在任期間中は現行の教育委員会制度で運用している（法的に認められている）。 ・教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置。 ・平成 27 年度に市長が招集し、「総合教育会議」が設置された。平成 28 年度は 1 回、開催された。 ・教育に関する「教育大綱」を総合教育会議において、市長と教育委員会が協議・調整して、策定した。 ・新教育委員会制度に移行しても、教育委員会は引き続き教育行政の執行機関であり、政治的中立性を確保されている。 <p>〔小城市教育委員会会議規則〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会は、毎月第 4 木曜日に開催する。（特別の理由があるときは、変更可能） ・臨時会は、委員長が必要と認めた場合、又は委員の 2 人以上から書面により請求があった場合に開催する。 ・会議は委員長の宣告により開会し、議題の論議の後、採決される。 		
これまでの取り組み状況	<p>(1) 毎年、定例会 12 回（原則、毎月第 4 木曜日）、必要に応じ臨時会を開催している。</p> <p>(2) 議案や会議資料等は、事前にメールで各委員へ送信し、資料を確認して委員会へ出席しているので会議の進行もスムーズで、合議制の教育委員会を重視したものとなっている。</p> <p>(3) 会議は原則公開とし、傍聴の機会を提供している。会議録については、その内容を毎月ホームページで公開するとともに、4 公民館、保育幼稚園課・学校教育課の窓口に配置し、情報公開している。</p>		
平成 28 年度中の重点的な取り組みと成果等	<p>(1) 定例会 12 回（原則、毎月第 4 木曜日）、臨時会 3 回（5/16、6/6、3/2）を開催した。</p> <p>(2) 平成 28 年度中の委員会で、議決事項 39 件、協議事項 15 件、報告事項 46 件、選挙事項 2 件について、議案審議及び報告を行い、教育行政の推進に努めた。</p> <p>(3) 会議は原則公開とし、傍聴の機会を提供しているが、平成 28 年度は、傍聴者が延べ 4 人で平成 27 年度とほぼ変わらなかった。</p> <p>会議録については、毎月ホームページで公開するとともに、4 公民館、保育幼稚園課・学校教育課の窓口に配置し、次回の定例教育委員会の日時を記載した傍聴に関する案内文とともに情報公開を進めた。</p>		

	<table border="1"> <thead> <tr> <th>会議回数</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定例教育委員会</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>臨時教育委員会</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>決議・承認件数</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>議決した議案数</td> <td>45</td> <td>93</td> <td>55</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>承認した報告数</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>34</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table>	会議回数	25年度	26年度	27年度	28年度	定例教育委員会	12	12	12	12	臨時教育委員会	5	7	2	3	決議・承認件数	25年度	26年度	27年度	28年度	議決した議案数	45	93	55	39	承認した報告数	43	43	34	46
会議回数	25年度	26年度	27年度	28年度																											
定例教育委員会	12	12	12	12																											
臨時教育委員会	5	7	2	3																											
決議・承認件数	25年度	26年度	27年度	28年度																											
議決した議案数	45	93	55	39																											
承認した報告数	43	43	34	46																											
重点的な取り組みを踏まえた課題と反省点	<p>(1) 会議の傍聴者について、前月の会議で翌月日程を決め、ホームページでの公開を速やかに行っているが、傍聴者数は横ばいである。</p> <p>(2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、新教育委員会制度への移行準備と総合教育会議の開催について、市長及び市長部局と協議、調整は概ね良好であった。</p>																														
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分																														
評価委員会による評価	<p>定例会 12 回（原則、毎月第 4 木曜日）、臨時会 3 回（5/16、6/6、3/2）を開催し、議決事項 39 件、協議事項 15 件、報告事項 46 件、選挙事項 2 件について、議案審議及び報告を行い、教育行政の推進に努めたこと及び会議を原則公開とし、傍聴の機会を提供したこと、会議録については、毎月ホームページで公開するとともに、4 公民館、保育幼稚園課・学校教育課の窓口に配置し、次回の定例教育委員会の日時を記載した傍聴に関する案内文とともに情報公開を進めているが、会議の傍聴者が延べ 4 人で平成 27 年度とほぼ変わらない。</p> <p>傍聴参加者が増加しないのは気おくれしているかもしれないし、逆に信頼されているかもしれない。いずれにしても地域住民の行政への関心を高め、情報発信の更なる工夫を期待する。</p>																														
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分																														
評価を踏まえた平成 29 年度以降の取り組みの方向性	<p>教育委員会会議の開催については、今後も各課との連絡調整を行い、スムーズな会議運営に努めていくと共に、総合教育会議、教育大綱に関しても市長部局と連携していく。</p> <p>小城市ホームページや庁舎・公民館窓口における情報公開は引き続き行いながら、教育委員会への関心を高めるような広報の方法について、検討を進める。</p>																														

評 価 結 果

(2) 施策の総合評価

平成28年度 施策総合評価

施策名	1. 学校教育の充実	主管課	学校教育課
平成28年度に取り組んだ事業の概要	<p>学校教育課では、「小・中学校教育内容の充実」、「心の問題への対応」、「特別支援教育の充実」、「家庭や地域との連携強化、安全対策の強化」、「教職員の資質向上」、「情報教育の充実」に取り組んだ。</p> <p>特に、「特別支援教育の充実」については、「子どもサポーター事業」や子ども支援センターでの訪問面接や巡回相談などの対応、平成26・27年度の文部科学省指定による三日月小学校・中学校の特別支援教育に関する公開授業や研究を活用した全小中学校での取り組みを行った。</p> <p>また、「情報教育の充実」については、平成27・28年度の文部科学省委託事業である「情報教育自治体応援事業」において、佐賀大学との連携により、道徳教育における情報モラル教育の在り方について研究し、小学1年生から中学3年生すべての学年においての「モデルカリキュラム」を作成し、どの学校でも活用できるようデータ化した。</p> <p>さらに、各学校における家庭教育の指針の作成・配布、セーフティネット会議を行った。</p>		
平成28年度の取り組みに関する自己評価	<p>「小・中学校教育内容の充実」では、義務教育の最終である進路について、中学3年生のほとんどが行きたい学校へ進学した。また、「特別支援教育の充実」については、様々な支援体制により、一人ひとりの教育ニーズに応じることが可能となってきており、学校体制や教職員の資質向上に貢献できた。しかし、特別な支援を要する児童・生徒が増加している状況からさらに支援できる体制づくりが必要となってきていると考えている。</p> <p>「情報教育の充実」については、岩松小学校の研究に関する情報を発信するとともに、市学力向上研究会のICT研究部会において、小中学校の実践及び実践データの蓄積ができてきている。また、文部科学省の研究指定の実践により、情報モラルに関する指導のモデルカリキュラム作成や実践の情報発信ができています。</p>		
自己評価総合判定	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>		
評価委員会による総合評価	<p>「小・中学校教育内容の充実」、「心の問題への対応」、「特別支援教育の充実」、「家庭や地域との連携強化、安全対策の強化」、「教職員の資質向上」、「情報教育の充実」など多岐にわたる事業に取り組んだこと、特に、「特別支援教育の充実」における「子どもサポーター事業」や子ども支援センターでの訪問面接や巡回相談などの対応、平成26・27年度の文部科学省指定による三日月小学校・中学校の特別支援教育に関する公開授業や研究を活用した全小中学校での取り組みを行ったこと、また、「情報教育の充実」における平成27・28年度の文部科学省委託事業である「情報教育自治体応援事業」において、佐賀大学との連携により、道徳教育における情報モラル教育の在り方について研究し、小学1年生から中学3年生すべての学年においての「モデルカリキュラム」を作成し、どの学校でも活用できるようデータ化したこと、さらに、各学校における家庭教育の指針の作成・配布、セーフティネット会議を行ったことは評価できる。</p> <p>今後5年間にわたる小城市教育振興基本計画が、平成29年度より実施されている。基本目標「城創伝心」のもと、新しい時代に必要とされる資質・能力の育成に努めることが明示されている。国をはじめいずれの自治体においても高邁な振興計画目標がしめされるが、えてして現実の教育現場における指導実態との乖離が目につきやすい。しかし、小城市においては目標に対しての実績が着実に成果として現われていると思う。今後も、教育振興基本計画に盛り込まれた内容が具体的な数値として具現化できるよう努力してほしい。</p> <p>「特別支援教育」「子どもサポーター事業」は支援の多様化により対応の充実や支援の質の向上が求められている。関係学校と連携を取り資質向上や人員確保に努め、市全体の学校で強化して欲しい。</p>		
評価委員会総合判定	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>		

<p>取り組んだ事務事業全般の評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性</p>	<p>学校教育については、今後必要な資質能力の育成に多面的に取り組み、主体的に社会を生きぬく力を育むための「生きる力」を創造し、総合的な人間教育と豊かな人間形成に努めていく。</p> <p>また、支援や配慮を必要とする子どもについても、一人一人の教育ニーズに沿って十分な支援ができるよう市教委（子ども支援センターを含む）・学校・関係機関・家庭等の連携強化体制や内容・指導力の充実につながるよう支援に努めていく。特に特別支援教育の充実に向け、「子どもサポーターの充実」に努めていく。</p> <p>新指導要領に加えられる外国語に関する指導や道徳教育の充実を図るとともに、小城市が先進的に取り組んでいるICT利活用についての情報を家庭や地域・市外にもPRするとともに、学習の成果に繋がるようより一層の利活用の工夫に取り組んでいく。</p>
---	---

平成28年度 施策総合評価

施策名	1. 学校教育の充実 2. 子育て支援の充実	主管課	教育総務課
<p>平成28年度に取り組んだ事業の概要</p>	<p>教育総務課の主な事務として、「教育委員会の会議運営」、「学校給食施設の充実と食育の推進」、「情報教育環境の設備充実」、「学校教育施設の整備充実」、「地域における子育て支援の充実」、「子育てを支援する生活環境の整備」に取り組んだ。</p> <p>「教育委員会の会議運営」に関しては、定例会はもとより、必要に応じて開催される臨時会の運営も臨機応変に開催することができた。また、会議録の公表についても、市民から見て分かりやすいように要約版にして、ホームページでの公開や教育委員会窓口への要約版の設置など、情報公開に積極的に取り組んでいる。そのほか、教育委員は、自主研修（地域とともにある学校づくり推進フォーラム 長崎県）を行うなど積極的に自己研鑽に取り組まれた。</p> <p>次に「学校給食施設の充実と食育の推進」については、学校給食を通じた食育の実施と、食中毒・異物混入防止のための衛生管理の徹底に力をいれた。</p> <p>「情報教育環境の設備充実」については、平成27年度に引き続き、文科省委託事業【ICTを活用した教育自治体応援事業】に取り組んだ。また、ICT支援員を継続配置し、ICT機器の有効活用ができるように支援を行った。</p> <p>「学校教育施設の整備充実」については、限られた予算の中で安心・安全な学校施設の維持に取り組んできた。また、大型事業である桜岡小学校プール改築事業に関して、新しいプールの建設と、既存プールの解体工事が終わり、事業を完了することができた。</p> <p>「地域における子育て支援の充実」では、放課後児童クラブの運営において、昨年度より5クラブ多い、16クラブを運営し、小学5年生までの受入を行った。</p> <p>「子育てを支援する生活環境の整備」では、育英資金貸付事業を行い、家庭における教育費負担の軽減を図った。</p>		
<p>平成28年度の取り組みに関する自己評価</p>	<p>「学校教育施設の整備充実」及び「学校給食施設の充実と食育の推進」、「地域における子育て支援の充実」については、目標を達成したが、「教育委員会の会議運営」では傍聴者がなかなか増えない点や、「子育てを支援する生活環境の整備」では、育英資金の滞納状況が改善するまで至らなかった点などを踏まえ、全体的には「おおむね達成」と考える。</p>		
<p>自己評価総合判定</p>	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>		

評価委員会による総合評価	「学校教育施設の整備充実」及び「学校給食施設の充実と食育の推進」、「地域における子育て支援の充実」については、年次計画等のもとに確実に事業が推進されている。児童クラブの5クラブ増設は素晴らしいが、ニーズに応じて充実させれば支援員への負担が増え大変だと思う。「教育委員会の会議運営」では自主研修を行うなど積極的に自己研鑽に取り組まれているが、傍聴者が増えない点や、「子育てを支援する生活環境の整備」では、育英資金の滞納状況が改善できていない。
評価委員会総合判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
取り組んだ事務事業全般の評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	「学校教育施設の整備充実」及び「学校給食施設の充実と食育の推進」、「地域における子育て支援の充実」については、それぞれ課題はあるが、年次計画に基づき事業を進めていく。 児童クラブの運営については、保護者ニーズに応えクラブの拡充を図ってきたが、支援員の負担は増えているので、今後負担軽減のために、雇用業務の委託先とも協議していく。 育英資金の滞納者への対応については、個別の事情を踏まえながら、育英学生本人はもちろんのこと、親権者及び連帯保証人への納付相談を行い、滞納解消に努める。

平成28年度 施策総合評価

施策名	2. 子育て支援の充実 3. 保育・幼児教育の充実	主管課	保育幼稚園課
平成28年度に取り組んだ事業の概要	<p>平成28年度は、「保育・幼児教育の充実」に関する、下記の3事業を実施した。</p> <p>「保育・幼児教育事業の推進」については、1号・2号・3号の支給認定、並びに、保育・幼児教育施設への「保育給付」「教育給付」などを実施した。</p> <p>「職員の資質向上」については、園訪問事業及び小城市幼児教育・保育ネットワーク事業により、園及び職員の研修及びネットワークの構築を行った。</p> <p>「保育・幼児教育環境の整備」については、民営化により平成29年度開設の認定こども園整備の支援をはじめ、保育園のトイレ改修や増設を行った。</p>		
平成28年度の取り組みに関する自己評価	<p>施設の利用を希望する子どもの、1号（満3歳以上で教育を受ける子ども：幼稚園・認定こども園）、2号（満3歳以上で保育の必要性がある子ども：保育所・認定こども園）、3号（満3歳未満で保育の必要性のある子ども：保育所・認定こども園・小規模保育所等）の「支給認定」や「入所申請の受理から入所決定」、「保育料算定と保育料徴収」、「保育給付・教育給付の施設型給付支給事務」について、日ごろから情報共有に努め、取り組んだ。</p> <p>公立園の環境整備や、公立・私立をネットワークで繋いだ会議や研修会による情報共有や職員の資質向上にも成果が見られた。</p> <p>事務事業全般としては、「達成」と考える。</p>		
自己評価総合判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分		
評価委員会による総合評価	<p>「幼稚園・保育園事業」も時代の流れと共に、大きく変遷している。認定子ども園への移行、民営化への移行などをはじめ、共働き家庭が増えるにつれ、預かりの形態、職員の勤務態様など問題・課題が山積している。そのような厳しい環境の中で、行政も園の現場職員も奮闘努力されている姿をよくみることができる。特別支援幼児教育事業・カンガルー教室では、子どもや保護者だけでなく保育士・支援員の学びの場となり、個々に合わせた保育を目指せることは大変素晴らしいことだと思う。今後も幼・保・小の連携を深め、情報共有や問題解決へとつなげてほしい。</p>		

<p>評価委員会による総合評価</p>	<p>「職員の資質向上」については、厳しい教育環境、勤務態様の中で、指導能力の向上、職員資質の維持は難しいが、小城市幼児教育・保育ネットワーク事業により、職員全員で支援新制度に従って情報共有するなど、資質向上に努められ、園及び職員の研修、ネットワークの構築を行い他地区から賛辞を受けたことは喜ばしい。</p> <p>「保育・幼児教育環境の整備」についても限られた予算の中で計画的に進められている。今後も引き続き成果が上がるよう以下のことについて検討して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園訪問事業については教育委員会と協議の上、訪問計画を作成し、前年度中に訪問園と日程調整して欲しい。 ・ 認定こども園における、1・2・3号の子ども間のスムーズな保育・教育の連携が密になる事。
<p>評価委員会総合判定</p>	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>
<p>取り組んだ事務事業全般の評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性</p>	<p>保護者の保育ニーズの増加に対し、今後も私立園の施設整備等への支援により定員確保を目指していく。</p> <p>幼児教育・保育ネットワークによる各事業も定着してきたが、今後も小城市全体で「子どもを中心にした教育・保育」ができるように進めていく。</p> <p>園訪問の計画については、年間行事に組み込めるように、年度当初に決定していく。</p> <p>認定こども園における教育・保育の連携については、平成30年度から始まる新しい認定こども園保育・教育要領により進めていく。</p>

平成28年度 施策総合評価

<p>施策名</p>	<p>4. 青少年の健全育成 5. 生涯学習の充実 6. 生涯スポーツの充実 7. 芸術・文化の振興と文化財の保護・活用</p>	<p>主管課</p>	<p>生涯学習課</p>
<p>平成28年度に取り組んだ事業の概要</p>	<p>4.青少年の健全育成</p> <p>小城市青少年育成市民会議の活動を中心に、例年どおりの行事を開催し、ある程度の参加者を得られた。本会議では、子どもへの安全対策への取り組みは力強く行われている。</p> <p>子ども達への事業として、放課後子ども教室の交流事業を行っているが、参加者数が少ない状況にある。夏休み子ども宿泊研修は、天山登山、創作活動、非常食体験等を行った。</p> <p>健全育成啓発事業として、基本的生活習慣を身につけることを目的に「早寝早起き朝ごはん」カレンダーを作成し、市内の幼稚園、保育園の園児、小・中学生の家庭に配布するなど、引き続き意識の高揚を図った。</p> <p>5.生涯学習の充実</p> <p>公民館主催の各種講座について、「小城市公民館体験講座」として実施した。</p> <p>社会教育委員の会から意見を受け、生涯学習振興計画改定に向けて生涯学習に関するアンケートを実施した。</p> <p>また、自治公民館建設補助事業の推進や、三日月野外研修センターのトイレ改修を行い、よりよい環境づくりに取り組んだ。</p> <p>その他の公民館について老朽化が進んでおり、安心して使える施設への対応を随時行ってきた。</p> <p>その他、社会教育団体である地域婦人会及び文化連盟への支援を行った。</p>		

	<p>6.生涯スポーツの充実</p> <p>小城市スポーツ推進委員 46 人の活動に対する支援、サガン鳥栖交流事業、全国競技大会等出場激励費交付事業、夏の学校施設プール開放事業等を実施し、参加（関係）者などに一定の成果を見た。また、平成 27 年度に策定した小城市スポーツ推進計画に基づき、関係各団体との連携に取り組み、競技力の向上や住民スポーツの促進に努めた。具体的には、小城市体育協会と連携を密に図り、競技力の向上を目指した。また、スポーツ推進委員の研修会等への積極的な参加を促し、スポーツ推進委員の個々の資質の向上に努めた。</p> <p>施設管理については、（一財）小城市体育協会を、社会体育施設 8 施設の指定管理としているが、市教育委員会においても、三日月体育館の雨漏りを改善する為、大規模改修工事を施工するなど、各施設の修繕等を適時適切に対応し、利用者の利便性の向上や安全で快適な施設の維持に努めた。</p> <p>また、「おぎARK宣言」として、市内一斉ラジオ体操会を開催した。</p> <p>7.芸術・文化の振興と文化財の保護・活用</p> <p>文化活動については、小城市文化連盟の活発な活動により、美術工芸展、ひなまつり等多彩な発表の場、体験の場が設けられており、適時公民館等による支援も実施している。</p> <p>また、秋の文化祭は公民館とともに、展示会や公演会など協働による活動が広がっている。</p> <p>そのほか、文化人財バンクの制度により、小学校への講師派遣等が行われ青少年健全育成活動でも活躍されている。</p>
平成 28 年度の取り組みに関する自己評価	<p>費用的に大きなウエイトを占めた事業として、三日月体育館改修工事があったが、細かな調整を行いながら完了することができた。</p> <p>また、ソフト面では、社会教育委員の会では「生涯学習振興計画」の改定に向けて生涯学習に関するアンケートを実施した。</p> <p>各公民館においても、改善を重ねた事業を実施しているとともに、文化連盟、体育協会、青少年育成会活動へのサポートもしっかりと行ってきた。</p>
自己評価総合判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価委員会による総合評価	<p>「青少年の健全育成」については、5 事業があり、「家庭の教育機能の向上」以外はほぼ例年通りの内容を展開し、成果を上げた。とくに「健全な社会環境づくり」は青少年育成会の活動において子どもを見守る体制ができています。「生涯学習の充実」については 5 事業すべてにおいて例年通りの成果を上げている。「生涯スポーツの充実」の 3 事業のすべて及び「芸術・文化の振興と文化財の保護・活用」1 事業においても例年通りの成果を上げている。</p> <p>生涯教育の事業範疇は広く、多くの事業や運動に取り組みねばならず大変であるが、少ない予算、少ないスタッフの中で本市においては、努力されていると思う。</p> <p>今回生涯学習に関するアンケートが実施された。住民の学習欲求やスポーツ欲求に応えることは、生涯学習を推進する行政側の大きな仕事である。アンケートの結果を十分に分析検討し、今後の生涯学習振興計画に生かしてほしい。</p> <p>三日月体育館改修工事も完了し、利用者の利便性の向上や安全で快適な施設になった。今後も今まで同様スポーツ・文化活動にサポートをお願いしたい。</p>
評価委員会総合判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分

<p>取り組んだ事務事業全般の評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性</p>	<p>生涯学習分野の中で、「家庭教育」の取り組みについて、今後は包括協定を締結している大学に協力を求めるなどで、力を入れていく。また、校区に一つは実施したい「放課後子ども教室」について、できていない校区での取り組みをスタートさせ、28年度に設置した「砥川地域連携室」での活動内容も濃くしていく。子ども達へは、「たくましく」を基本とした事業展開、地域へ還元できる生涯学習、活発な自主サークル活動の促進など、情報収集、発信を行い更なる生涯学習の底上げを行っていく。生涯学習推進計画策定にあたっては、市民ニーズ、時代の流れをとらえていく。</p> <p>スポーツに関しては、オリンピックや国体を意識し、アスリートとのふれあいの場の創出など気軽に多くの市民が活動できるようなしかけを行っていく。</p> <p>社会教育、社会体育施設については、安心安全な施設の維持に努めていく。</p>
---	---

平成28年度 施策総合評価

施策名	5. 生涯学習の充実 7. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用	主管課	文化課
平成28年度に取り組んだ事業の概要	<p>5. 生涯学習の充実</p> <p>(1) 図書館運営事業の充実を行った。 新たに「ヤマネコ毛布絵本原画展」、「ぬいぐるみおとまり会」を開催した。</p> <p>(2) 学校図書館との連携、支援を行った。</p> <p>(3) 『第二次小城市子どもの読書活動推進計画』を推進した。</p> <p>(4) 雑誌スポンサー制度を開始した。</p> <p>7. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用</p> <p>(1) 伝統芸能団体の発表の機会を設けることができた。</p> <p>(2) 高度芸術鑑賞の機会を2回設け多くの参加者があった。</p> <p>(3) 開発に伴う埋蔵文化財の調査件数が増加傾向にあるが、開発側との調整に努めた。 発掘調査成果の展示会を行い調査成果を公開した。</p> <p>(4) 「社遺跡出土 いろは歌墨書土器」の市重要文化財指定を行った。</p> <p>(5) 文化財収蔵施設の一元化・確保を進めた。</p> <p>(6) 地方創生加速化交付金を活用し歴史的建造物活用事業を行った。(H27・28年度)</p> <p>(7) 書に親しむ日を開催し、幅広い年齢層で多くの参加者を得た。</p> <p>(8) 梧竹デジタルミュージアムの拡充を行った。</p>		
平成28年度の取り組みに関する自己評価	<p>5. 生涯学習の充実</p> <p>雑誌スポンサー制度を開始することができた。</p> <p>7. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用</p> <p>文化財保護と開発との調整を図ることができた。新たに文化財指定、歴史的建造物活用事業(2年目)など文化財の保存・活用を行うことができた。梧竹デジタルミュージアムの拡充、梧竹特別展を行い梧竹の業績を公開することができた。</p>		
自己評価総合判定	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>		

<p>評価委員会 による総合 評価</p>	<p>「図書館利用の推進」については「ヤマネコ毛布絵本原画展」、「ぬいぐるみおとまり会」、「雑誌スポンサー制度」「おとうさんおはなし会」など新たな内容を展開し、成果を上げた。</p> <p>「芸術・文化の振興と文化財の保存・活用」についても例年通りの事業を推進し例年通りの成果を得ている。とくに、地方創生加速化交付金を活用し歴史的建造物活用事業を行った。</p> <p>市民図書館の運営について、また芸術・文化の振興と文化財の保存・活用について、小城市では、水準の高い施策ならびに運営が行われている。ただ、小城市民の多くはこれらの事に関心があるが、まだ一部の人の利用にとどまっていると思う。今後ますます多くの市民が、図書館に親しんだり、芸術文化に触れることのできる事業を展開してほしい。梧竹デジタルミュージアムの拡充も大いに期待したい。</p> <p>雑誌スポンサー制度は面白い取り組みだと思う。芸術・文化の振興と文化財の保存・活用には今後とも力を入れて行ってほしい。そしてそれが観光へとつながることを期待する</p>
<p>評価委員会 総合判定</p>	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>
<p>取り組んだ 事務事業全 般の評価を 踏まえた平 成29年度 以降の取り 組みの方向 性</p>	<p>図書館利用の推進は司書の資質の向上を目指し、利用しやすい雰囲気づくりに努める。</p> <p>引き続き、「第二次小城市子ども読書推進計画」を進めていく。雑誌スポンサー制度のPRを行う。</p> <p>「小城屋根のない博物館構想」に基づき市内の文化財の保護・啓発・活用に努める。活用にあたっては観光部局とも連携を図る。</p> <p>中林梧竹翁の顕彰を引き続き行う。梧竹デジタルミュージアムの拡充・充実を行う。</p>

評 価 結 果

(3) 基本事業評価

平成 28 年度 小城市教育委員会所管事務事業 番号一覧

基本方針	施策名	基本事業名	主管課	事業番号	ページ	
1 いきいき学ぶ 学校教育の推進	1 学校教育の 充実	1. 小・中学校教育内容の充実	学校教育課	1	16	
		2. 心の問題への対応	学校教育課	2	17	
		3. 特別支援教育の充実	学校教育課	3	19	
		4. 家庭や地域との連携強化、安全対策の強化	学校教育課	4	21	
		5. 学校給食施設の充実と食育の推進	教育総務課	5	22	
		6. 教職員の資質向上	学校教育課	6	24	
		7. 情報教育環境の整備充実	教育総務課	7	26	
		8. 学校教育施設の整備充実	教育総務課	8	27	
2 学校教育環境 の整備充実						
3 子育て支援と 保育・幼児教育 の充実	2 子育て支援 の充実	1. 地域における子育て支援の充実	教育総務課	9	29	
		2. 子育てを支援する生活環境の整備	教育総務課	10	30	
	3 保育・幼児 教育の充実	1. 保育・幼児教育事業の推進	保育幼稚園課	11	32	
		2. 職員の資質向上	保育幼稚園課	12	36	
		3. 保育・幼児教育環境の整備	保育幼稚園課	13	38	
4 豊かな生涯学 習の推進とスポ ーツの充実	4 青少年の健 全育成	1. 家庭の教育機能の向上	生涯学習課	14	39	
		2. 青少年健全育成体制と活動の充実	生涯学習課	15	40	
		3. 健全な社会環境づくり	生涯学習課	16	42	
		4. 青少年の体験・交流活動への参画促進	生涯学習課	17	43	
		5. 青少年団体、指導者の育成	生涯学習課	18	45	
	5 生涯学習の 充実	1. 生涯学習推進体制の充実	生涯学習課	19	46	
		2. 生涯学習関連施設の整備充実・機能強化	生涯学習課	20	47	
		3. 指導者の育成・登録・派遣体制の充実	生涯学習課	21	48	
		4. 市民のニーズに合った特色ある学習プログラムの整備と提供	生涯学習課	22	50	
		5. 生涯学習関係団体との連携	生涯学習課	23	51	
		6. 図書館利用の推進	文化課	24	52	
	6 生涯スポー ツの充実	1. スポーツ施設の整備充実・有効活用	生涯学習課	25	54	
		2. スポーツ団体、指導者の育成	生涯学習課	26	55	
		3. 幅広いスポーツ活動の普及促進	生涯学習課	27	56	
	5 多彩な文化の 振興と伝統文化 の継承	7 芸術・文化 の振興と文 化財の保存・ 活用	1. 芸術・文化団体、指導者の育成	文化課	28	58
			2. 多様な芸術・文化の鑑賞機会、発表機会の充実	生涯学習課 文化課	29	59
			3. 文化財の保存・活用	文化課	30	61
			4. 書にふれる機会の充実	文化課	31	62

平成28年度 事業評価表		主管課	学校教育課	事業番号	1
基本方針	1. いきいき学ぶ学校教育の推進	区 分		<input type="checkbox"/> 新規	
施策名	1. 学校教育の充実			<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
基本事業名	1. 小・中学校教育内容の充実			<input type="checkbox"/> 完了	
平成28年度における事業の概要	◇ 校内研究の充実 小城市学力向上研究会において、「学び合う活動」を学習過程に取り入れ、ICTを活用した学習を行ったりするなどの校内研究を全小中学校が実践した。				
平成28年度における事業の目標	① 小・中学校の連携と各学年に応じた教育の推進を図る。 ② 学力の定着や向上をめざすと共に、豊かな心を育む教育、健やかな心身を育む教育を推進する。				
平成28年度における取り組み状況等	① 校内研究の充実 学習問題の解決に向け、自分の考えを出しあい、討議し意見交流を通して、自分の考えを付加・修正・強化する「学び合う活動」が進み、児童・生徒の学力の定着や向上が図られた。 ② ICT利活用による授業の実践 全教室に電子黒板、学習者用タブレット端末を整備し、ICT支援員による機器操作の校内研修が継続的に実施される環境が整い、「わかる授業づくり」や「学び合う授業づくり」など授業改善が進んだ。電子黒板やデジタル教科書を日常的に活用したり、タブレット端末の活用形態（1人1台～グループで1台）を工夫したりするなど、ICT利活用による「わかる授業づくり」が進んだ。				
平成28年度の課題と反省点	① 校内研究の充実 小学校・中学校ともに、思考力や表現力に課題がある。各学校が校内研究で取り組んでいる「学びあう活動」（意見交流）を取り入れた授業づくりをさらに充実させるとともに、「書く力」をさらに伸ばす指導方法の改善が求められる。言語活動の研究やICT利活用を研究する学校が増えており、市全体としての研究の深まりが伺えた。 ② ICT利活用による授業の実践 学力向上（思考力・表現力・判断力の育成）につながる活用の仕方や学習者用タブレット端末の活用（1人1台～グループで1台）について、授業公開、授業研究会を通して研修を深めていく必要があり、先進的に取り組む岩松小の研究情報や成果を市内の各小学校・中学校へ広めていく。また、情報モラルについての学習を取り入れていく必要があり、道徳でのモデル学習の実践や成果を広めていく。				
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				
評価委員会による評価	全教室に電子黒板、学習者用タブレット端末を整備し、ICT支援員による機器操作の校内研修が継続的に実施される環境が整い、「わかる授業づくり」や「学び合う授業づくり」など授業改善が進み、その成果も確実に向上しているように見える。各学校においては、それぞれ校内研究テーマを設定し、日々研修と研鑽に励み、学習指導・生徒指導等に努力されている姿がうかがえる。児童生徒達が、先生方の努力にいかにも反応してくれるかがカギとなるが、子ども達が授業に積極的に参加し、学習動機や関心を持てるよう指導技術向上にさらなる努力をお願いしたい。 ICTの利活用については大きな予算をかけて整備がなされてきた。その成果・効果などを各学校間で共有し、市全体の教育水準引き上げに一層努力してほしい。情報モラルについての学習を取り入れ、道徳でのモデル学習にも力を入れて欲しい。学校の利用だけでなく、それ以上に家庭での利用頻度が高くなっている。モラルについては小さいうちから十分指導を要すると思う。				

評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>小城市では、小中学校教育の充実の柱として、「学力向上をめざした学び合う授業づくり」について「小城市学力向上研究会の大会や研究公開授業（毎年小中学校3校、市教委共催）」を行っている。ここでの情報を他校での教育活動の共有と実践を行うことで充実を図るものである。ICT教育の推進を図るとともに、重要な「情報モラル教育」についても実践を重ね、小城市の子どもたちに情報モラルの意識づけを図っていく。</p> <p>2020年から実施の新指導要領の公示がなされ、道徳教科や外国語に関する指導、また、「主体的、対話的な深い学び」を教育課程に取り入れて、次世代を担う人材の育成を図る。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	学校教育課	事業番号	2
基本方針	1. いきいき学ぶ学校教育の推進	区分			<input type="checkbox"/> 新規
施策名	1. 学校教育の充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	2. 心の問題への対応				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	<p>① 子ども支援センターでの不登校相談、適応指導教室運営、カウンセリング事業（来所相談、電話相談など）</p> <p>② いじめ問題への対応（市いじめ問題対策連絡協議会等の運営、アンケート、関係機関との連携、いじめ0宣言など）</p>				
平成28年度における事業の目標	<p>いじめなどの問題行動や不登校などの不適応行動を起こす児童・生徒が抱える心の問題に対し、教職員の資質向上、生徒指導体制の充実を図ります。</p>				
平成28年度における取り組み状況等	<p>① 子ども支援センターでの教育相談・カウンセリング事業 子ども支援センターへの子どもサポーターやカウンセリング等の資格を持つ相談員を配置し、児童・生徒、教師、保護者からの相談やカウンセリングに取り組んだ。また毎週定例のカンファレンスを行い、子ども支援センターと社会福祉課家庭相談員、スクールソーシャルワーカー、スクールサポーター、学校教育課で問題行動等情報を共有し、連携して学校を支援した。</p> <p>② いじめ問題への対応 毎月10日の「小城市いじめ防止・心を考える日」の心のアンケートや、QU テストの活用により、いじめ問題の早期発見・早期支援や学級集団づくりに取り組んだ。市のいじめ防止対策の方針や施策等について市教育委員会と協議・情報交換を行う「小城市いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、「小城市いじめ防止・心を考える日」の啓発のぼりを作成した。また、いじめの現状把握を行い、課題やいじめ事案の発生に関しその対策について検討する「いじめ問題専門委員会」を開催し、加害不明の事案を取り上げ、再発防止に向けた取り組みについて協議し、家庭、地域、関係機関等との連携強化について再確認した。</p> <p>③ 不登校対策事業 不登校対策事業として、小中学校へのスクールカウンセラーの配置・活用や適応指導教室「ほたる」で通級指導や教育相談等を行い、学校への復帰支援を行った。</p> <p>④ スクールカウンセラー 各小中学校に臨床心理士であるスクールカウンセラーを配置し、生徒指導上の諸問題の状況</p>				

	<p>に応じた指導・支援等を行なうスクールカウンセラー配置事業に取り組んだ。</p> <p>⑤「心の教室相談員」配置事業 心の悩みを抱える生徒の相談にあたり、子ども支援センターと連携しながら生徒の学校生活を支援する「心の教室相談員（市内中学校）」配置事業に取り組んだ。</p>
平成28年度の課題と反省点	<p>① 子ども支援センターでの教育相談・カウンセリング事業 不登校に関する支援（教育相談や学校適応指導教室）について、より高いニーズ（家庭に引きこもりがちで、家庭以外の人との接触がほとんどない児童・生徒への対応）に対応する必要がある。</p> <p>② いじめ問題への対応 いじめ防止基本方針の策定や重大事態への対処として、外部の専門家等で構成するいじめ対策委員会（「いじめ問題対策連絡協議会」「いじめ問題専門委員会」）の活用を図る。また、各学校におけるいじめ防止対策の推進（防止、早期発見、早期対応等）を一層図る必要がある。</p> <p>③ 不登校対策事業 小城市の不登校の出現率を見ると、中学校は横ばいであるが、小学校の出現率が上昇している状況である。適応指導教室「ほたる」に通級している児童・生徒については、学校との連携を密にして、学校への復帰をさらに支援していく必要がある。</p> <p>④ スクールカウンセラー スクールカウンセラーの活用促進や、スクールソーシャルワーカーとより連携を深めた取り組みが必要である。</p> <p>⑤「心の教室相談員」配置事業 学校、子ども支援センター、大学との連携を密にしながら、支援の充実を図る必要がある。</p>
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価委員会による評価	<p>①子ども支援センターへの子どもサポーターやカウンセリング等の資格を持つ相談員を配置し、児童・生徒、教師、保護者からの相談やカウンセリングに取り組んだこと、②毎月10日の「小城市いじめ防止・心を考える日」の心のアンケートや、QJテストの活用により、いじめ問題の早期発見・早期支援や学級集団づくりに取り組んだこと、③不登校対策事業として、小中学校へのスクールカウンセラーの配置・活用や適応指導教室「ほたる」で通級指導や教育相談等を行い、学校への復帰支援を行ったこと、④各小中学校にスクールカウンセラーを配置し、生徒指導上の諸問題の状況に応じた指導・支援等を行なったこと、⑤心の悩みを抱える生徒の相談にあたり、子ども支援センターと連携しながら生徒の学校生活を支援したことは評価できる。</p> <p>とくに、子ども達の心の相談事業は大変充実していると思う。子ども支援センター、子どもサポーター制度などは、他市町に先駆けて設けられ、これまで着実に成果を上げてきている。加えてスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールサポーター、などのスタッフも充実している。また、家庭に直接出向いていかれる社会福祉課家庭相談員の方々ともよく連携がとれ、効果的な相談事業が行われている。それでも今年度は不登校児童数が増加したそうであるが、さらに努力をお願いしたい。</p> <p>いじめに対しては早期発見早期対応が必要で、地域との連携やきめ細かい対応をしなくてはいけない。学校と外部（児童委員、大学等）との定期的な連携の方法を検討する必要がある。ただ、「ほたる」のような行き場所があって大変良いと思う。</p>
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分

評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>子どもたちの心の問題等については、市教委の重点事業として取り組んできており、児童・生徒を中心に据え、防止・早期発見・早期対応を進めるため、市教委、子ども支援センター、全小中学校のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の連携体制を整え、着実に進めていく。その過程で、児童・生徒本人や保護者（家族）が安心して臨めるよう、前記の体制について広く広報していく。</p> <p>いじめ問題については、「いつでもどこでもおこりうるもの」としてとらえ、市、市教委、学校において対応ができるよう体制を整えており、いじめの予防、早期発見・早期対応について充実させていく。またその基盤となる「人権教育」は大変重要であると考えており、各学校では道徳の学習をはじめ、学校教育活動全体の中での推進を進める。</p>
--------------------------	---

平成28年度 事業評価表		主管課	学校教育課	事業番号	3
基本方針	1. いきいき学ぶ学校教育の推進	区 分			<input type="checkbox"/> 新規
施策名	1. 学校教育の充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	3. 特別支援教育の充実				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	◇ 特別支援教育支援体制の充実 支援が必要な幼稚園・保育園、小学校、中学校の幼児・児童・生徒に対して、必要な支援を行うなど、支援体制の充実を図った。				
平成28年度における事業の目標	障がいのある子どもたちが自立し、社会参加するために必要な力を養うことができるよう、一人ひとりの教育ニーズに応じた適正な就学指導、支援に取り組む。				
平成28年度における取り組み状況等	<p>① 就学相談事業 学校、園、保健師との連携を密にし、就学相談会や子ども支援センターでの個別相談につなげ、一人ひとりの特性に応じた適正な就学支援に努めた。健康増進課の療育支援事業において、保護者啓発の講話を行い、就学相談への理解を図った。</p> <p>② 子ども支援センターでの相談事業 子ども支援センターでの児童・生徒や保護者との教育相談・心理カウンセリングや巡回相談、個別のケース検討会議等に取り組んだ。幼稚園・保育園の幼児への巡回相談が多くなってきている。</p> <p>③ 子どもサポーター配置事業（小・中） 22人の配置について、学校長の要望に沿うよう、学校を適宜訪問し、児童・生徒の実態を把握した上での適正な配置を行い、児童生徒の支援に努めた。</p>				
平成28年度の課題と反省点	① 就学相談事業 インクルーシブ教育システム構築に向け、就学支援のさらなる充実や基礎的環境整備、合理的配慮（教育内容・方法、支援体制、施設・設備）の推進を図ってきた。対象の子どもや家庭環境に応じて、学校教育課、子ども支援センター、幼保小中、関係機関等との連携強化を一層図る必要がある。				

<p>平成28年度の課題と反省点</p>	<p>② 子ども支援センターでの相談事業 子ども支援センターでの児童・生徒や保護者との教育相談・心理カウンセリングや巡回相談に取り組んでいるが、福祉部関係や関係機関との連携をさらに進める必要がある。</p> <p>③ サポートファイル「つながり」の活用推進 小・中学校での活用を広げるため、研修等で紹介するなど周知の工夫を図る必要がある。</p> <p>④ 子どもサポーター配置事業（小・中） 平成19年度に18人を配置して以来、年々配置が必要な状況が増えており、平成25年度から22人を配置しての対応である。限られた人員の中で、できる限りの対応を行ってきたものの、さらに必要な状況であり増加配置を検討したい。</p>
<p>自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>
<p>評価委員会による評価</p>	<p>①学校、園、保健師との連携を密にし、就学相談会や子ども支援センターでの個別相談につなげ、一人ひとりの特性に応じた適正な就学支援に努めた。健康増進課の療育支援事業において、保護者啓発の講話を行い、就学相談への理解を図ったこと、②子ども支援センターでの児童・生徒や保護者との教育相談・心理カウンセリングや巡回相談、個別のケース検討会議等に取り組んだこと、③ 子どもサポーター（小・中）22人の配置について、学校長の要望に沿うよう、学校を適宜訪問し、児童・生徒の実態を把握した上での適正な配置を行い、児童生徒の支援に努めたことなど特別支援教育支援体制が充実したことは評価できる。</p> <p>発達障害の研究が進化するとともに、多種多様な障がいのある子どもたちが増加してきている。その中で小城市においては、子ども支援センター、子どもサポーターが大きな役割をはたしている。今後ますます発達障害のある子ども達は増加するであろうが、限られた予算・限られた人数の中でサポーターをどのように配置するかは、教育委員会でも苦慮されていると思う。</p> <p>発達障害はひとくくりではなく個々のいろいろなパターンがあるため、相談員の知識向上も大変だと思う。難しい課題ばかりだと思うが、サポーターの増加配置を検討しながら子ども達の自立、社会参加のための学習支援等、全市的な広がりがもっと必要である。</p> <p>小城市議会の文教厚生常任委員にも苦慮している教育現場を視察いただき、人員増加の必要性を理解してもらおうようにしてはいかだろうか。</p>
<p>評価判定</p>	<p style="text-align: center;">A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>
<p>評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性</p>	<p>これまで以上に、市教委、園、学校、関係機関（学校教育課、子ども支援センター、保育幼稚園課、健康増進課、専門医療機関等）の連携体制の強化を図るとともに、児童生徒一人ひとりの教育ニーズに応じた支援（市教育支援委員会や子ども支援センターの機能充実、子どもサポーター配置の充実・工夫など）の充実を図る。</p> <p>また、子ども支援センターの専門スタッフや専門機関等による小城市教職員・サポーター等への研修を実施し、指導力向上、家庭との連携を高める。</p>

平成28年度 事業評価表

	主管課	学校教育課	事業番号	4
基本方針	1. いきいき学ぶ学校教育の推進		区 分	<input type="checkbox"/> 新規
施策名	1. 学校教育の充実			<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	4. 家庭や地域との連携強化、安全対策の強化			<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	開かれた学校づくりの推進として、学校・学年・学級だよりの発行や学校ホームページでの学校情報発信を行ったり、セーフティ会議を行ったりするなど、安全・安心な地域づくりを図った。			
平成28年度における事業の目標	学校・家庭・地域が一体となった総合的な子どもの安全対策を促進するため、地域社会への学校施設の開放をはじめ、児童・生徒や教職員と地域社会との交流促進に努めるなど、より開かれた学校づくりに取り組む。			
平成28年度における取り組み状況等	<p>① 開かれた学校づくりの推進 開かれた学校づくりの推進として、「学級だより」「学年だより」「学校だより」等を定期的に発行したり、学校のホームページ等で学習の様子や学校行事、諸活動の取り組みなどを紹介したりして、学校の情報発信に務めた。</p> <p>② セーフティネット会議の開催 小城市全体でのセーフティネット会議を開催し、市内7地区からの実践報告をもとに、子ども達の安全・安心な生活を守るための具体的な取り組みや課題解決の方法について審議し、これからの本会議の在り方について話し合った。 また、本市が配置し取り組んでいる「スクールサポーター（警察官OB）事業」により、小中学校での生徒指導、安全・安心な学校生活、非行防止等の観点から、学校、市教委、関係諸機関との連携強化が図られた。</p>			
平成28年度の課題と反省点	<p>① 家庭教育の指針の実践 全国学力学習状況調査の結果では、本市の児童・生徒の家庭での学習時間は全国平均に比べ少ない状況であることや携帯電話・スマートフォンでの通話やメール、インターネット閲覧の時間は全国・佐賀県平均より高いことから、小・中連携した取り組みの中で「家庭学習の手引き」等の見直しや家庭教育を振り返る強化週間の設定、保護者啓発の研修など、家庭の教育力強化のさらなる取り組みが必要である。</p> <p>② 開かれた学校づくりの推進 学校のホームページを使った情報発信等について、家庭や地域に知らせたい話題をこまめな更新に務める必要がある。</p> <p>③ セーフティネット会議の開催 通学路等の危険箇所を把握し、児童・生徒への周知・徹底を図ると共に、関係機関との連携を図り危険箇所の改善に向けた取り組みが必要である。</p>			
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分			

<p>評価委員会による評価</p>	<p>①「学級だより」「学年だより」「学校だより」等を定期的に発行したり、学校のホームページ等で学習の様子や学校行事、諸活動の取り組みなどを紹介したりして、学校の情報発信に務めたこと、②小城市全体でのセーフティネット会議を開催し、市内7地区からの実践報告をもとに、子ども達の安全・安心な生活を守るための具体的取り組みや課題解決の方法について審議し、会議の在り方について検討したこと、また、「スクールサポーター（警察官OB）事業」により、小中学校での生徒指導、安全・安心な学校生活、非行防止等の観点から、学校、市教委、関係諸機関との連携強化を図ったことは評価できる。</p> <p>セーフティネット会議は効果的な事業だと思う。セーフティネット会議の開催についてはこれからも続けて欲しい。市内の小城高校・牛津高校とも連携をとれば子どもの安全・地域の安全にもつながると思う。関係機関との連携を図った取り組みを期待したい。</p> <p>「家庭学習の手引き」等の見直しや家庭教育を振り返る強化週間の設定、保護者啓発の研修など、家庭の教育力強化のさらなる取り組みが必要である。</p> <p>インターネット閲覧時間が全国・佐賀県平均より高いということを保護者へ告知し、警告していくことは重要だと感じた。小中学生のケータイ・スマートフォンの学校持ち込みの禁止の徹底をお願いしたい。</p> <p>学校は、地域との連携についてもいろいろ工夫をされているところである。教育現場は忙しくなかなか時間的な余裕はないだろうが、学校ホームページの書き換えも長く時間をあけないで実施していただくと有難い。また、月1回程度発行される学校だよりも、子どもが通学している家庭には届くが、子どもがいない家庭には届かない。回覧版でもよいので見る機会は出来ないだろうか。</p>
<p>評価判定</p>	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>
<p>評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性</p>	<p>家庭教育の充実、小城市教育の重点課題であると認識しており、学校・家庭・地域が一体となって、将来の小城市のを担う子どもを育てていくというコミュニティの視点で市教委、学校・家庭・地域が共通理解と共通行動をとっていくことが大切である。</p> <p>学校が作成している「家庭教育の指針」や「家庭学習の手引き」について、保護者（PTA・育友会）との協議を継続して行う。また、保護者や地域住民への学校情報発信に関して、ホームページはもとより、学校便り等を地域へ配布するなどの工夫をしていく。</p> <p>また、青少年健全</p> <p>育成市民会議への市教委、学校職員の参加も継続し、地区ごとのセーフティネット会議の機能や連携の強化を図っていく。</p> <p>これらの情報を学校便りやホームページ等を用いて家庭や地域に広く啓発できるよう進めていく。</p>

<p>平成28年度 事業評価表</p>		<p>主管課</p>	<p>教育総務課</p>	<p>事業番号</p>	<p>5</p>
<p>基本方針</p>	<p>1. いきいき学ぶ学校教育の推進</p>			<p>区分</p>	<p><input type="checkbox"/> 新規</p>
<p>施策名</p>	<p>1. 学校教育の充実</p>				<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p>
<p>基本事業名</p>	<p>5. 学校給食施設の充実と食育の推進</p>				<p><input type="checkbox"/> 完了</p>

平成28年度における事業の概要	<p>① 食中毒防止のための衛生管理対策 主な食中毒の原因であるO-157やノロウィルスを防止するため、HACCP(ハサップ)方式の実施を徹底し、重要管理点を定めて施設の問題や改善点、課題等を洗い出し、衛生管理の周知徹底を図る。</p>																		
平成28年度における事業の概要	<p>② 地産地消による食育の推進 「小城市ふるさと食の日」を年2回制定し、地元食材を多く取り入れた給食を実施する。また、食材費補填のための補助金を交付する。</p> <p>③ 安全でおいしい学校給食の提供 老朽化している給食施設的环境整備を行い、安全な給食を提供する。 また、異物混入事故を防止するため、調理現場・物資納入業者への研修会を実施する。</p>																		
平成28年度における事業の目標	<p>① 食中毒・異物混入防止のため衛生管理の徹底に取り組む。 ② 地元食材を多く活用し、ふるさとへの愛情を育み食育推進を図る。</p>																		
平成28年度における取り組み状況等	<p>① 食中毒防止のための衛生管理対策 食中毒を防止するため、食材の検収から調理の工程までにおいてトラブルを事前予測し、経過を監視し、その記録を取り、異物混入等発生時にすみやかに改善策に取り組むことができるHACCP(ハサップ)方式の実施を徹底するため、関係職員全員で実技研修を行い、施設の問題や改善点、課題等を洗い出し、衛生管理の周知徹底を図った。</p> <p>② 地産地消による食育の推進 「小城市ふるさと食の日」を年2回(11月、1月)制定し、地元の生産者への感謝の気持ちや、ふるさとへの愛情を育むため、地元食材を多く取り入れた献立を実施した。 1月は小城市のご当地メニューである「マジェンバ」を取り入れ、学校で試食会を開催した。食材費補填のため、各給食運営委員会へ補助金を交付。 平成28年度交付額は556,920円。(140円×3,978食)</p> <p style="text-align: center;">地産食材(野菜)の調達率 (単位:%)</p> <table border="1" data-bbox="416 1335 1337 1478"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内産</td> <td>32.9</td> <td>28.1</td> <td>36.9</td> <td>36.0</td> <td>29.4</td> </tr> <tr> <td>県内産</td> <td>50.8</td> <td>46.8</td> <td>48.4</td> <td>47.0</td> <td>43.6</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※県内産は市内産を含む</p> <p>③ 安全でおいしい学校給食の提供 ・職員の資質向上のため、夏季休業期間中、及び定期的に栄養士・調理員等の研修を実施。 ・衛生管理基準に基づいた給食の実施を徹底するため、小城・多久合同で衛生管理研究会を開催し、栄養士・調理員の実地研修、給食施設長(センター長・学校長)も含めた講習会を実施した。</p>		H24	H25	H26	H27	H28	市内産	32.9	28.1	36.9	36.0	29.4	県内産	50.8	46.8	48.4	47.0	43.6
	H24	H25	H26	H27	H28														
市内産	32.9	28.1	36.9	36.0	29.4														
県内産	50.8	46.8	48.4	47.0	43.6														
平成28年度の課題と反省点	<p>① 食中毒防止のための衛生管理対策 衛生管理基準に、調理室内の環境設備が追いついていない部分がある。食中毒はわずかな細菌で感染してしまうので、設備改善の必要がある。</p> <p>② 地産地消による食育の推進 地元の業者と連携を取り、旬の食材を最大限使用するよう取り組みをしているが、大量調理の給食センターでは食材の確保が難しく、調達率が伸びなかった。</p> <p>③ 安全でおいしい学校給食の提供</p>																		

	おいしい給食を提供するため、夏季休業期間中及び定期的に栄養士・調理員等の研修会を実施した。一方で、職員の安定的な雇用に課題を残した。
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価委員会による評価	<p>①HACCP（ハサップ）方式の実施を徹底するため、関係職員全員で実技研修を行い、施設の問題や改善点、課題等を洗い出し、衛生管理の周知徹底を図ったこと、②「小城市ふるさと食の日」を年2回（11月、1月）制定し、地元の生産者への感謝の気持ちや、ふるさとへの愛情を育むため、地元食材を多く取り入れた献立を実施し、食材費補填のため、各給食運営委員会へ補助金を交付したこと、③安全でおいしい学校給食を提供するため夏季休業期間中、及び定期的に栄養士・調理員等の研修を実施したこと、また、衛生管理基準に基づいた給食の実施を徹底するため、小城・多久合同で衛生管理研究会を開催し、栄養士・調理員の実地研修、給食施設長（センター長・学校長）も含めた講習会を実施したことは評価できる。</p> <p>とくに、地元食材を多く取り入れ地産地消に取り組みながら食育の推進を図った事は評価できる。食中毒防止のための衛生管理対策、食物アレルギー児童等への配慮など、安全でおいしい学校給食の提供に給食センターはよく努力されてはいる。しかし、アレルギー食物の自分で除去は事故が心配である。食中毒や異物混入防止のために、設備改善を最優先でお願いしたい。小城センターの空調については梅雨時の気温も気になるので考慮されても良いのでは？業務内容が厳しく・過酷で職員等の確保が難しいという報告であったが、なんとかならないものだろうか。</p>
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>地元食材を取り入れた、安全で安心な学校給食を提供していくため、今後もHACCP（ハサップ）方式を継続し、異物混入等の防止に努め衛生管理の徹底を図っていく。</p> <p>老朽化施設の改善及び、空調機器のない調理室の設備環境を改善し、継続的な人員の確保に努めるとともに、今後の学校給食の運営及び施設のあり方についても検討していく。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	学校教育課	事業番号	6
基本方針	1. いきいき学ぶ学校教育の推進			区分	<input type="checkbox"/> 新規
施策名	1. 学校教育の充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	6. 教職員の資質向上				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	<p>① 県及び市教育委員会より、各学校を計画的に訪問し、校内研究の取り組みや指導方法、教職員の資質向上等について指導・助言を行った。</p> <p>② 学力向上研究会での授業研究会の開催し、岩松小学校、三日月小学校、三日月中学校での実践を公開し、市内全教職員が研修した。</p> <p>③ ICT活用による指導力向上の研究 校内研究の柱としてICTを利活用し、効果的な活用について研究を進めた。また、市内全小中学校でのICT活用の授業実践を行い、実践データを蓄積し、推進を図った。</p>				
平成28年度における事業の目標	適切な指導の推進や研修・研究活動の促進を通して、教職員の指導力の向上を図る。				

<p>平成28年度における事業の概要課題と反省点</p>	<p>① 学校訪問事業 児童・生徒の学力向上や豊かな心を育むため、教職員の意識改革や部活動指導のあり方など、研修の充実及び管理職の学校マネジメント力の向上をさらに図ることが課題である。</p> <p>② 学力向上研究会での授業研究会の開催 「市学力向上研究会」の授業研究大会の充実や学力定着に向けた教職員の課題意識（学び合う教育活動やICT利活用推進）の向上に努める。</p> <p>③ ICT利活用による指導力向上の研究 小城市学力向上研究会の中の「ICT研究部会」の活性化を図り、電子黒板とタブレットの活用実践を進める。</p>
<p>自己評価</p>	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>
<p>評価委員会による評価</p>	<p>①県及び市教育委員会より、各学校を計画的に訪問し、校内研究の取り組みや指導方法、教職員の資質向上等について指導・助言を行ったこと、②岩松小学校、三日月小学校、三日月中学校での授業実践を公開し、市内全教職員が研修したこと、③ICTを利活用し、効果的な活用について研究を進めたこと、また、市内全小中学校でのICT利活用の授業実践を行い、実践データを蓄積し、推進を図ったことは評価できる。</p> <p>学校訪問事業等では、教育委員さん達も訪問後の事後の感想やメモなどを学校に送り、意見等の交流等を行っているとの説明であったが大変よいことだと思う。</p> <p>学力向上研究会は数年前から発足、実践されているが、ますます充実発展させてほしい。</p> <p>ICTの効果的な活用や利活用の授業実践等、教員の指導力、資質向上をされていると感じた。教員の負担軽減になるような研究を推進してほしい。</p>
<p>評価判定</p>	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>
<p>評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性</p>	<p>教育の充実については、これからの社会を生き抜く力の育成にかかる授業改善に向けた教職員の取り組みや学習規範・親和的集団づくりに着目した生徒指導、家庭における学習や生活の見直しなどについての教職員の認識や指導力の向上が必須である。</p> <p>そのため小城市教育委員会では、指導や支援（学校訪問の内容充実、日々の指導主事の支援、市学力向上研究会の事業支援、充実など）を通して、教職員一人一人の意識醸成・実践力等の資質向上をめざす。</p> <p>ICT利活用については、学習指導の中で、いつでも、どこでも、だれでも使えるよう、教職員の指導力向上のための校内研究の推進をはじめ、指導主事、ICT支援員による支援充実、「ICT利活用教育自治体応援事業」による授業公開・実践・資料の蓄積を図る。</p> <p>学力学習状況調査や県立高校の入試結果について、成果や課題を把握するとともに、義務教育終了時に、生徒が希望する学校へ行けるよう、主体的な課題解決の方法、支援体制や支援の実施等そのさらなる充実を図る。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	教育総務課	事業番号	7
基本方針	1. いきいき学ぶ学校教育の推進	区 分	<input type="checkbox"/> 新規		
施策名	1. 学校教育の充実		<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
基本事業名	7. 情報教育環境の整備充実		<input type="checkbox"/> 完了		
平成28年度における事業の概要	<p>① 文科省委託事業「ICTを活用した教育自治体応援事業（ICT活用実践コース）」 公募された委託事業に採択され、小中学校におけるICT活用のモデル授業を組み込んだモデルカリキュラムを作成する。</p> <p>② 教育の情報化 校務の情報化として、教育情報基幹システムを構築して校務支援システムなどを活用、小中学校及び教育委員会を結ぶ専用のネットワークとサーバー類等の一括管理、監視体制があるデータセンターの活用で、セキュリティー等の安全性を確保している。また、授業の情報化として、全ての普通教室・特別支援学級・職員室と、一部の特別教室に電子黒板、校内全ての教室内無線ネットワークで使用する学習者用タブレット PC 及び先生用タブレット PC を活用している。</p> <p>③ ICT支援員の配置 教育の情報化を推進するために必要な人的な支援として、ICT支援員を配置して小中学校の先生方を支援する。</p>				
平成28年度における事業の目標	小・中学校の情報基盤整備を充実し教育の情報化を進めるため、児童生徒の情報教育の推進とICTを効果的に活用した質の高い授業の実践を進める。				
平成28年度における取り組み状況等	<p>① 文科省委託事業 小中学校で進める情報化にあって欠かすことが出来ない「情報リテラシーと情報モラルの育成」を実践テーマとして授業研究を進め、6学年の道徳に対応するモデル授業を研究、モデルカリキュラムを開発することができた。市内全ての学年において統一の授業を年間指導計画に位置づけ、ICTの効果的な活用と合わせて教育の情報化を確実に推進させた。</p> <p>② 教育の情報化 小中学校における教育の情報化として、安心安全そして効率的で効果的な環境及びシステムが必須であるため、ネットワーク及びシステムの保守など業務委託して万全を期した。また、校内で使用されるICT機器類のメンテナンスや修理対応も迅速に対応した。中学校の教科書改訂に伴うデジタル教科書の更新を行い、授業の質向上につなげた。</p> <p>③ ICT支援員の配置 3人のICT支援員を市内小中学校に配置して、先生方の校務及び授業の支援をした。ICTを効果的に授業で活用するために、授業支援の回数は増加した。</p>				
平成28年度の課題と反省点	<p>市内小中学校の統一された環境下で、安心安全に教育の情報化を進めるためには、各システムなどを安定して運用することが必須であり、今後も事業継続は必要不可欠である。</p> <p>文科省委託事業の目的を確実に達成して成果を挙げるためにも、市内全ての先生方による実践が必要不可欠であり、全ての児童生徒による成功体験が同時に必要である。そのためにも、学校の支援体制の中心となるICT支援員の配置や、情報化全般の組織的な対応から、今後次期計画を実践していく。</p>				
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				

<p>評価委員会による評価</p>	<p>①文科省委託事業、②教育の情報化、③ICT 支援員の配置と全国トップクラスの事業を展開している。市内小中学校の統一された環境下で、安心安全に教育の情報化を進めるためには、各システムなどを安定して運用することが必須であり、今後も事業継続は必要不可欠である。また、文科省委託事業の目的を確実に達成して成果を挙げるためにも、市内全ての教員による実践が必要不可欠であり、全ての児童生徒による成功体験が同時に必要である。そのためにも、学校の支援体制の中心となる I C T 支援員の配置や、情報化全般の組織的な対応から、今後次期計画を実践していく必要がある。</p> <p>教育の情報化への対応は、時代の進展とともにますます重要となってくる。大きな財源を必要とし、大変な事業であるが、指導者の指導スキルを向上させ、小城市の子ども達が時代から取り残されないよう、鋭意努力をお願いしたい。</p> <p>小城市の ICT 教育はほかの地域と比べても充実していて誇らしく思う。どんどん進んでいく ICT 教育で質の向上を目指すのであれば、ICT 支援員の充実（増員）は不可欠だと思う。</p>
<p>評価判定</p>	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>
<p>評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性</p>	<p>継続して情報モラル学習のモデルカリキュラムの活用を進めていくと共に、個人情報保護等の観点から、学校に情報セキュリティポリシーの周知徹底を図っていく。</p> <p>また、文科省委託事業の目的を確実に達成して成果を挙げるためにも、ICT を効果的に活用し、質の高い授業を実践できるよう支援体制の充実を図り、次期計画を実践していく。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	教育総務課	事業番号	8
基本方針	2. 学校教育環境の整備充実			区分	<input type="checkbox"/> 新規
施策名	1. 学校教育の充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	8. 学校教育施設の整備充実				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	<p>① 小学校施設維持事業、中学校施設維持事業 学校運営の中において、施設の老朽化、災害等により学校施設に発生する、大規模な修繕を行い施設の機能維持を図り、児童・生徒等の安全・安心な学校生活を確保する。</p> <p>② 小学校施設改善事業、中学校施設改善事業 学校運営の中において、学習指導要領等根拠・関係法令等の改正並びに社会情勢の変化に伴う保護者のニーズに対応するため、必要に応じて整備等を行い児童・生徒等の学習環境の充実を図る。</p> <p>③ 小学校施設大規模改造事業（牛津小学校） 経年により通常発生する学校建築物の損耗、機能低下に対する復旧措置及び建物の用途変更に伴う改装等の大規模改造を行う。</p> <p>④ 桜岡小学校プール改築事業 桜岡小学校のプールは昭和49年に建設され、老朽化・劣化が著しかったため、プール改築を行った。また、市内小学校の中で桜岡小学校のみ小プールが設置されていない状況であり、新設するには旧プール用地では面積が不足していた。よって、新たに用地を購入し大プール・小プールおよび屋外トイレも併せて建設を行った。</p>				

平成28年度における事業の目標	<p>学校施設の改修、修繕及びプール改築を行うことで児童、生徒の安全・安心な学校生活と学習環境の充実を図り、また、牛津小学校大規模改造工事及び桜岡小学校プール改築を行うことで教育環境の改善を図り、さらには建物の耐久性の向上を図る。</p>
成28年度における取り組み状況等	<p>① 小学校施設維持事業、中学校施設維持事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校施設維持事業 <ul style="list-style-type: none"> 三里小学校 体育館屋根塗膜防水工事、岩松小学校 非常用階段手摺補修工事、三日月小学校 南校舎1階教室床及び階段下床補修工事、砥川小学校 校長室空調機取替工事、芦刈小学校 改築用仮設道路の復旧に伴う田面補修工事 他 ・中学校施設維持事業 <ul style="list-style-type: none"> 三日月中学校 校長室雨漏り補修工事、小城中学校 トイレ便器取替工事、芦刈中学校 相撲場整備工事、三日月中学校 体育館床改修及び北出入口庇取付工事 他 <p>② 小学校施設改善事業、中学校施設改善事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校施設改善事業 <ul style="list-style-type: none"> 三日月小学校 特別支援教室空調機設置工事、三里小学校 特別支援教室空調機設置及び音楽室換気設備工事、晴田小学校 出入口改修工事、砥川小学校 体育館地域連携室改修工事 他 ・中学校施設改善事業 <ul style="list-style-type: none"> 三日月中学校 部室棟トイレ便器取替工事、牛津中学校 特別支援教室改修工事、芦刈中学校 TV電波障害対策工事、三日月中学校 排水設備改良工事 他 <p>③ 小学校施設大規模改造事業（牛津小学校）</p> <p>平成27年度、国の2月補正予算で採択されたため、繰越を行い平成28年度に施工を行った。</p> <p>（平成28年度実績）</p> <p>仮設校舎建設、校舎南棟東側大規模改造工事、給食用備品等購入等</p> <p>④ 桜岡小学校プール改築事業</p> <p>（平成28年度実績）</p> <p>プール改築工事、外構工事、既存プール解体工事、屋外便所棟工事等</p>
平成28年度の課題と反省点	<p>学校施設は昭和40～50年代に建てられた施設が多く老朽化が著しく学校現場からの要望も多くなっている。市の財政が厳しい中で、必要性及び効率性等を考慮したうえで優先順位をつけ最小の経費で最大の効果を発揮できるよう最善を尽くしている。</p> <p>また、国の予算措置も年々厳しくなっており、県内でも不採択の事業も多く出ている。そのような中で、今後も予算確保に向けた対策や地道な予算要望を行っていく。</p>
自己評価	<p style="text-align: center;">A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>
評価委員会による評価	<p>学校施設は昭和40～50年代に建てられた施設が多く老朽化が著しいため学校現場からの要望も多くなっている。市の財政が厳しい中で、必要性及び効率性等を考慮したうえで優先順位をつけ最小の経費で最大の効果を発揮できるよう最善を尽くしている。</p> <p>また、国の予算措置も年々厳しくなっており、県内でも不採択の事業も多く出ている。そのような中で、今後も予算確保に向けた対策や地道な予算要望を行っていく必要がある。</p> <p>近年、地震・水害と災害をととも身近に感じるようになった。避難場所ともなりうるので、防災の面からも補修・補強を行い、整備充実を図ってほしい。</p> <p>また、近年の夏場の気温上昇で、小中学校へのエアコンの設置について順追って予算立てし、実行に移してほしい。</p>
評価判定	<p style="text-align: center;">A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>

評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>老朽化した学校が複数校残っており、学校施設の改修・整備等については、防災面への対応や市の財政状況も踏まえたうえで喫緊の課題として引き続き取り組んでいく。また、予算措置についても継続して国への要望を行っていく。</p> <p>空調設備の設置については前向きに取り組んでいく。一方で学校施設のコスト増大を抑えるためにも、より効果的な手法や省エネ対策の検討を図ったうえで導入を図っていく。</p>
--------------------------	--

平成28年度 事業評価表		主管課	教育総務課	事業番号	9																				
基本方針	3. 子育て支援と保育・幼児教育の充実			区 分	<input type="checkbox"/> 新規																				
施策名	2. 子育て支援の充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続																				
基本事業名	1. 地域における子育て支援の充実				<input type="checkbox"/> 完了																				
平成28年度における事業の概要	<p>◇ 放課後児童クラブ運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の8小学校の余裕教室・専用施設で16クラブを開設 ・開設期間 4月1日から翌年3月31日 ・新1年生の4月1日から受け入れ（入学式前からの受け入れ） ・学校振替休日の開設 ・土曜日の毎週開設、開設時間を19時まで延長 ・小学5年生までの受け入れ 																								
平成28年度における事業の目標	<p>国の「子ども・子育て支援新制度」により、小学6年生までの児童の受け入れが必要となり、小城市では平成31年度までに段階的に受入をする計画であったが、28年度に5年生まで受入れたため、来年度の6年生受入の検討を行う。</p> <p>保護者のニーズに合わせた、朝の開所時間の検討を行う。（8:30開所 → 8:00開所）</p>																								
平成28年度における取り組み状況等	<p>① 小学5年生までを受入れた。 ② 11クラブ→16クラブを開設 ③ 三日月第一放課後児童クラブのトイレ改修工事を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラブ数</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>定員数（人）</td> <td>460</td> <td>470</td> <td>495</td> <td>695</td> </tr> <tr> <td>入級者数（人）</td> <td>432</td> <td>463</td> <td>474</td> <td>588</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度の数値は、5月1日現在</p>					内 容	H25	H26	H27	H28	クラブ数	10	11	11	16	定員数（人）	460	470	495	695	入級者数（人）	432	463	474	588
内 容	H25	H26	H27	H28																					
クラブ数	10	11	11	16																					
定員数（人）	460	470	495	695																					
入級者数（人）	432	463	474	588																					
平成28年度の課題と反省点	<p>①平成29年度は6年生まで受け入れるが、来年度以降、待機児童を出さないためには、クラブの実施場所の確保が難しくなっている。</p> <p>② 支援員の雇用については、NPO法人に委託しているが、人員の確保に苦慮している状況がある。特別な支援が必要な児童の増加や保護者ニーズの多様化など、対応が難しくなっている。</p>																								
自己評価	<p><input checked="" type="radio"/> A 達成 <input type="radio"/> B おおむね達成 <input type="radio"/> C やや不十分 <input type="radio"/> D 不十分</p>																								

評価委員会による評価	<p>共働きの家庭が増加するにつれ、放課後児童クラブに在籍する児童がますます増えてきつつあり、「時間外、土曜・日曜日、長期休業中も」と保護者の要望はますます大きくなり、学校教育の範疇ではまかないきれない状況になってくると思われる。教育委員会では6年生まで受け入れる計画を立てているが、その計画は困難な中にも順調に進捗していると思われる。</p> <p>多様なニーズによく対応されていると思う反面、支援員の方の大変さを考えると、ここまで手厚くしなくてはいけないのかと疑問も感じる。価格の値上げはしかるべきだと思う。児童クラブの民営化も視野に入れてはどうか。</p> <p>また、放課後のグラウンド解放等もっと積極的に出来ないだろうか。子どもにとって楽しい放課後児童クラブとなる様に学校との連携を望む。</p>
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>小学6年生まで受入れや開所時間の変更等、保護者のニーズに応えつつ、事業の推進に努めていく。学校と連携を図り、放課後の子どもの居場所づくりを推進していく。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	教育総務課	事業番号	10																													
基本方針	3. 子育て支援と保育・幼児教育の充実			区分	<input type="checkbox"/> 新規																													
施策名	2. 子育て支援の充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続																													
基本事業名	2. 子育てを支援する生活環境の整備				<input type="checkbox"/> 完了																													
平成28年度における事業の概要	<p>◇ 育英資金貸付（小城市育英資金・小城市小柳育英資金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向学心に富み、有能な資質を有する学生・生徒で、経済的理由により修学困難な者に修学資金の貸付を行い、家庭における教育費負担の軽減を図るとともに、平等に教育を受ける機会の拡大を目指す。 ・小城市（ただし小柳育英は小城町）に住所のある者の子弟を対象とし、毎年3月に募集受付、4月中に選考委員会を実施し、育英学生を決定する。 ・貸付額は、大学（短大等含む）・専修学校年間 240,000 円、高等専門学校年間 180,000 円、高校年間 120,000 円。返済は貸付終了後、1年間措置期間の後、10年間無利子償還。 																																	
平成28年度における事業の目標	<p>従来からの滞納者へ継続的に納付を促し、平成28年度納付分も含めて確実に納付を促し、滞納が固定化しないよう細やかな納付相談を粘り強く推進する。</p>																																	
平成28年度における取り組み状況等	<p>育英資金貸付については、育英資金選考委員会にて貸付者を決定した。</p> <p style="text-align: right;">（単位：件、人）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">資金・年度 内 容</th> <th colspan="5">小城市育英資金</th> </tr> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>候補者決定件数</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>新規貸付人数</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>					資金・年度 内 容	小城市育英資金					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	申請件数	11	6	6	5	6	候補者決定件数	8	6	6	5	5	新規貸付人数	8	6	6	5	5
資金・年度 内 容	小城市育英資金																																	
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度																													
申請件数	11	6	6	5	6																													
候補者決定件数	8	6	6	5	5																													
新規貸付人数	8	6	6	5	5																													

平成28年度における取り組み状況等	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">資金・年度 内 容</th> <th colspan="5">小城市 小柳育英資金</th> </tr> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>候補者決定件数</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>新規貸付人数</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	資金・年度 内 容	小城市 小柳育英資金					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	申請件数	5	6	1	1	2	候補者決定件数	4	5	1	1	2	新規貸付人数	3	5	1	0	2
	資金・年度 内 容		小城市 小柳育英資金																											
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度																								
	申請件数	5	6	1	1	2																								
候補者決定件数	4	5	1	1	2																									
新規貸付人数	3	5	1	0	2																									
(単位：人、円)																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">資金・年度 内 容</th> <th colspan="5">小城市育英資金</th> </tr> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸付人数</td> <td>30</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>22</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>貸付金額</td> <td>6,660,000</td> <td>6,120,000</td> <td>5,400,000</td> <td>4,800,000</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>償還金額</td> <td>13,004,950</td> <td>11,945,000</td> <td>10,379,200</td> <td>11,366,400</td> <td>10,702,300</td> </tr> </tbody> </table>	資金・年度 内 容	小城市育英資金					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	貸付人数	30	26	24	22	14	貸付金額	6,660,000	6,120,000	5,400,000	4,800,000	3,000,000	償還金額	13,004,950	11,945,000	10,379,200	11,366,400	10,702,300	
資金・年度 内 容		小城市育英資金																												
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度																									
貸付人数	30	26	24	22	14																									
貸付金額	6,660,000	6,120,000	5,400,000	4,800,000	3,000,000																									
償還金額	13,004,950	11,945,000	10,379,200	11,366,400	10,702,300																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">資金・年度 内 容</th> <th colspan="5">小城市 小柳育英資金</th> </tr> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸付人数</td> <td>6</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>貸付金額</td> <td>1,920,000</td> <td>2,720,000</td> <td>2,400,000</td> <td>1,680,000</td> <td>960,000</td> </tr> <tr> <td>償還金額</td> <td>694,000</td> <td>624,000</td> <td>758,000</td> <td>706,000</td> <td>1,056,000</td> </tr> </tbody> </table>	資金・年度 内 容	小城市 小柳育英資金					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	貸付人数	6	13	11	7	5	貸付金額	1,920,000	2,720,000	2,400,000	1,680,000	960,000	償還金額	694,000	624,000	758,000	706,000	1,056,000	
資金・年度 内 容		小城市 小柳育英資金																												
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度																									
貸付人数	6	13	11	7	5																									
貸付金額	1,920,000	2,720,000	2,400,000	1,680,000	960,000																									
償還金額	694,000	624,000	758,000	706,000	1,056,000																									
平成28年度の課題と反省点	<p>① 育英資金の貸付は、入学後、在学確認後の貸付となるため、入学準備金として使用できないことや連帯保証人がいないこと、貸付金額が少額であることのため、他の奨学金を優先して借りているなどの理由により募集人数に満たない状況にある。</p> <p>② 育英資金の償還について、卒業後に就職できない、就職しても収入が少ないなどの理由で返済できない者がある。未償還額は減少しているが、未償還人数が増えている。未償還者の状況を把握し、柔軟な対応をしていく必要がある。償還金が次世代の学生への貸付原資となることを貸付時より周知徹底し、期間内の返還を求める必要がある。</p> <p>③ 制度開始時にあまり実績のなかった大学院進学者があり、成人と親権者の取り扱いの関係で、見直しが必要な箇所が出てきている。</p> <p>④ これまで納付が途絶えていた育英学生に納付催促等を行い納付へ繋がった者や、育英学生からの納付がなかったため親権者や連帯保証人へ納付相談を行い、納付へ繋がったことが未償還額の減少となった。その反面、新たな未償還者があり全体的な未償還人数が増えた。新たな滞納者が継続的な滞納者とならないように、文書・電話・自宅訪問等による納付相談を行い継続的に滞納とならない様に努力した。</p>																													
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分																													
評価委員会による評価	<p>学業成績が優秀であるにも拘わらず、家庭の事情等で十分な学資が得られにくい生徒に貸付られる育英会制度であるが、利用者が少ないという事は、小城市においては、そのような条件・状況下における生徒がいないということであろうか。学校（高校）側との話し合い・情報交換会が定期的に行われる必要性を感じる。</p> <p>貸付人数が多かれ少なかれ、この支援で助かっている人がいる限り継続をしてほしい。未償還金額については毎年の課題が残るが、親権者や保証人への納付相談が実を結び、減少したことは素晴らしい。これからも返納未納者への柔軟な対応をお願いしたい。</p>																													

評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>育英資金については、小城市内中学生の進学校を中心に育英資金の情報提供を引き続き行い、応募者増加につながるよう周知徹底していく。</p> <p>滞納者については、個別の事情を踏まえながら親権者及び連帯保証人への納付相談も引き続き行い、滞納解消に努める。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	保育幼稚園課	事業番号	11
基本方針	3. 子育て支援と保育・幼児教育の充実	区分		<input type="checkbox"/> 新規	
施策名	3. 保育・幼児教育の充実			<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
基本事業名	1. 保育・幼児教育事業の推進			<input type="checkbox"/> 完了	
平成28年度における事業の概要	<p>1. 特別支援幼児教育事業 公立幼稚園及び公立保育園で、発達障がい等のある幼児の生活習慣や学習上の困難を改善または克服することができるよう、発達障がい対応の支援員を配置する。</p> <p>2. 保育園・幼稚園外国語教育委託事業 ALTの派遣により、英語遊びを通して国際理解教育の基礎を育む。</p> <p>3. 保育園・幼稚園国際交流等事業 佐賀大学と西九州大学の協力を得て、アジア各国からの留学生をはじめ、さまざまな国の人々と交流することで、子ども達の外国に対する関心・興味の高揚を図る。</p> <p>4. 幼稚園就園奨励費補助事業 小城市内に居住する園児のうち、施設型給付に乗らない幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担の軽減を目的として、幼稚園が保護者に対し入園料及び保育料を減免した場合に、補助金を交付する。保護者の市町村民税により算定。</p> <p>5. 幼児教育事業（晴田・三日月・芦刈幼稚園） 園児に対し基本的な生活習慣を身に付け、子ども達が「生きる力」を育み、次代を担う人材として成長する事により就学に繋げる。</p> <p>6. 子どものための保育給付等事業（2号・3号） 支給認定子どもが私立の保育施設又は地域型保育を行う事業者で保育を受けた場合、保育に要した費用について施設型給付又は地域型給付を行う。</p> <p>7. 子どものための教育給付事業（1号） 支給認定子どもが私立の教育施設で教育を受けた場合、教育に要した費用について施設型給付を行う。</p> <p>8. 認可外保育施設職員健康診断等補助事業 市内の認可外保育施設等の児童や職員の安全な保育環境を推進するため、児童及び職員の健康診断経費・児童の傷害保険料・安全施設整備費・保育環境整備費の費用の一部を補助する。保育環境整備費を市単独事業として創設し、費用の一部を補助する。</p> <p>9. 子どものための特別保育事業（延長保育事業）（障がい児保育補助）（2号・3号） 保護者の就労条件等により通常の保育時間を延長して保育を実施した私立保育園・認定こども園の保育所部分に対し、事業に要する費用の一部補助を実施する。 身体障害者手帳・療育手帳の交付を受けた障がい児を受け入れるため保育士を加配した園に、人件費の一部補助を行なう。（小城市単独） ※公立保育園も延長保育は実施。（補助対象外）</p>				

<p>平成 28 年度における事業の概要</p>	<p>10. 子どものための特別教育事業（一時預かり保育事業）（1号） 小城市の子どもが通う私立の幼稚園や認定こども園の幼稚園部分で一時預かり保育を実施した施設に対しかかる経費の補助を行う。</p> <p>11. 芦刈幼稚園預かり保育事業 芦刈幼稚園で幼稚園の保育時間終了後、14:00～18:00の間預かり保育を実施する。</p> <p>12. 保育園保育事業（三里・岩松・小城・砥川保育園） 保護者の就労等により保育を必要とする就学前の乳幼児の保育を実施することにより、保護者の就労と子育ての両立を支援するとともに乳幼児の健全な心身の発達を図る。</p>																																																												
<p>平成 28 年度における事業の目標</p>	<p>小城市子ども・子育て支援事業計画に基づき、施設利用が必要な就学前の子どもたちを安心、安全に受け入れる体制づくりや施設整備に努め、待機児童の解消や幼児教育・保育の充実を目指す。</p>																																																												
<p>平成 28 年度における取り組み状況等</p>	<p>1. 特別支援幼児教育事業 保育士、支援員に対し、発達障害等のある園児についての就学までの流れを把握するため、学校教育課指導主事による講義を実施し、共通理解を深めてもらった。</p> <table border="1" data-bbox="395 887 1347 1084"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園の対象園児数</td> <td>34</td> <td>41</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>保育園の対象園児数</td> <td>49</td> <td>47</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>幼稚園の特別支援員数</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>保育園の特別支援員数</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 保育園・幼稚園外国語教育委託事業 市内の保育・幼児教育施設に年間 10 回 ALT を派遣し国際理解教育の基礎となる英語遊びを行った。平成 28 年度からおひさま保育園も対象。</p> <table border="1" data-bbox="395 1236 1347 1433"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施幼稚園数</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>実施保育園数</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>幼稚園の延べ参加園児数</td> <td>3,320</td> <td>2,753</td> <td>3,092</td> </tr> <tr> <td>保育園の延べ参加園児数</td> <td>4,092</td> <td>3,948</td> <td>3,310</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 保育園・幼稚園国際交流等事業 市内の保育・幼児教育施設の園行事に、佐賀大学と西九州大学の留学生を派遣し、園児が様々な国の文化を学ぶための交流を行った。</p> <table border="1" data-bbox="395 1585 1347 1783"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象幼稚園</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>対象保育園</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>対象幼稚園児数</td> <td>221</td> <td>353</td> <td>235</td> </tr> <tr> <td>対象保育園児数</td> <td>151</td> <td>93</td> <td>145</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	幼稚園の対象園児数	34	41	30	保育園の対象園児数	49	47	38	幼稚園の特別支援員数	11	11	9	保育園の特別支援員数	12	10	14	区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	実施幼稚園数	5	5	5	実施保育園数	8	8	9	幼稚園の延べ参加園児数	3,320	2,753	3,092	保育園の延べ参加園児数	4,092	3,948	3,310	区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	対象幼稚園	2	3	2	対象保育園	2	2	3	対象幼稚園児数	221	353	235	対象保育園児数	151	93	145
区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度																																																										
幼稚園の対象園児数	34	41	30																																																										
保育園の対象園児数	49	47	38																																																										
幼稚園の特別支援員数	11	11	9																																																										
保育園の特別支援員数	12	10	14																																																										
区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度																																																										
実施幼稚園数	5	5	5																																																										
実施保育園数	8	8	9																																																										
幼稚園の延べ参加園児数	3,320	2,753	3,092																																																										
保育園の延べ参加園児数	4,092	3,948	3,310																																																										
区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度																																																										
対象幼稚園	2	3	2																																																										
対象保育園	2	2	3																																																										
対象幼稚園児数	221	353	235																																																										
対象保育園児数	151	93	145																																																										

平成 28
年度にお
ける取り
組み状況
等

4. 幼稚園就園奨励事業

小城市内に居住する児童のうち、施設型給付に乗らない幼稚園に就園する児童の保護者に対し経済的軽減のための補助を行った。ほとんどの園が施設型給付に乗ったため、対象者減。

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
補助世帯	365	6	0
市内公立幼稚園	3	0	0
市外幼稚園	27	5	0

5. 幼児教育事業（晴田・三日月・芦刈幼稚園）

公立幼稚園 3 園の園児の心身共に健全な育成へと結びつくよう各園テーマを設定してクローズアップ活動を行った。また、食育の推進に向け農業体験を行った。

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
園児数	277	259	249

6. 子どものための保育給付等事業

新制度により始まった給付事業。

小城市の子どもが通う保育園及び認定こども園等に対し給付を実施した。

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
対象施設数	—	72	87

7. 子どものための教育給付事業

新制度により始まった給付事業。

小城市の子どもが通う幼稚園及び認定こども園に対し給付を実施した。

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
対象施設数	—	17	16

8. 認可外保育施設職員健康診断等補助事業

市内認可外保育施設（託児所）に対して、職員の健康診断の費用の一部補助、また園児の健康診断や傷害保険の一部補助、及び、市単独で保育環境整備費の補助を行った。

みどり保育園は平成 28 年 4 月に認可外部分を廃止

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
入園乳幼児数	23	25	10
対象施設数	2	2	1

9. 子どものための特別保育事業（延長保育事業）

市内私立保育園及び認定こども園保育園部分で規定の時間を越えた延長保育を実施した施設に対し補助を行った。

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
対象施設数	6	7	7

10. 子どものための特別教育事業（一時預かり保育事業）

小城市の子どもが通う私立幼稚園及び認定こども園幼稚園部分で預かり保育を実施した施設に対し委託料を支払った。

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
対象施設数	—	10	8

11. 芦刈幼稚園預かり保育事業

公立芦刈幼稚園で預かり保育を希望する保護者の園児を 14:00 から 18:00 まで預かった。

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
延べ月預かり数	234	213	237
延べ日預かり数	655	452	318

12. 保育園保育事業（三里・岩松・小城・砥川保育園）

公立保育園 4 園の園児の心身共に健全な育成へと結びつくよう、各園テーマを設定してクローズアップ活動を行った。また、食育の推進に向け農業体験を行った。

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
園児数	379	373	355

平成 28
年度の課
題と反省
点

1 「特別支援幼児教育事業」

特別支援員の確保に苦慮している。

2 「保育園・幼稚園外国語教育委託事業」

早期教育へ偏らないように英語教育ではなく、国際理解の活動を行う。

3 「保育園・幼稚園国際交流等事業」

主に佐賀大学と西九州大学の留学生を活用した事業だが、留学生の確保や園との調整、送迎等にかかる職員の負担が大きく、外国語教育委託事業と内容も重なったため、平成 29 年度は廃止し「保育園・幼稚園外国語教育委託事業」へ一本化していく。

4 「幼稚園就園奨励費補助事業」

施設型給付に乗らない施設のみが対象であり、平成 28 年度は対象者が無かった。

5 「幼児教育事業（晴田・三日月・芦刈幼稚園）」

核家族化等で夫婦共働き世帯の増加により、利用者が減っている。

6 「子どものための保育給付等事業」

保護者の特定の施設への入所希望はあるものの、2、3号認定（保育希望）の需要に対する供給については以前確保が出来ていないが、少子高齢化の及ぼす影響によって需要の減が想定されるため、公立保育園の民営化や施設整備等について現在、慎重に取り組んでいく必要がある。

7 「子どものための教育給付事業」

地方単独費分の負担が大きいに、幼児教育無償化に向けた取り組みが大きく拡充し、財政負担が大きくなっている。

8 「認可外保育施設職員健康診断等補助事業」

認可保育所や小規模保育施設等、公的支援が受けられるよう国の動向を注視していく必要がある。

9 「子どものための特別保育事業（延長保育事業、障がい児保育補助）」

一部の保護者から延長保育事業拡大の要望があるが、園児の育ちの部分や保育士の確保を考えながら現状維持をしていく必要がある。

障がい児保育補助については、保育士不足の中、加配が厳しい園がある。

10 「子どものための特別教育事業（一時預かり保育事業）」

保育の需要が大きくなか、保育所への入所ができず幼児教育と一時預かりで代用されている方もあり、今後も利用拡大が見込まれる。

11 「芦刈幼稚園預かり保育事業」

平成 29 年度の民営化により終了。今後、他の公立園での事業検討も必要。

12 「保育園保育事業（三里・岩松・小城・砥川保育園）」

国の進める女性の社会進出の増加に伴い、低年齢児の保育や延長保育の拡大、一時保育、休日保育、病後児保育が求められるようになってきている。それらのニーズに答えるために保育士の質の向上及び施設の整備を図り、安心して働けるように予算の確保が必要である。

自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価委員会による評価	<p>数多い保育・幼児教育事業の中で、保育園・幼稚園教育現場も、行政担当者もよく頑張って職務を遂行している。時代の要請と共に延長保育の拡大、一時保育、休日保育、病後児保育等がますます増加していくが、どうしても現場の担当者に負担がかかる。</p> <p>幼児教育の無償化による、財政負担が大きくなっているとあるが、勤務態様が劣化しないように財源を確保し、関係大学と連携を取り、スムーズな人員の確保を確実に行ってほしい。</p>
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>国の、子どもを取り巻く大きな制度改革の中、サービスが次から次に拡大し、業務が増大する中、職員は毎日の調整で業務をやりくりしている現状。今後も情報共有と共通理解に務めて対応していく。</p> <p>保育士の確保については、引き続き大学との連携を密にするとともに、雇用条件の見直しにも着手していきたい。</p>

平成28年度 事業評価表

		主管課	保育幼稚園課	事業番号	12
基本方針	3. 子育て支援と保育・幼児教育の充実			区分	<input type="checkbox"/> 新規
施策名	3. 保育・幼児教育の充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	2. 職員の資質向上				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	<p>1. 園訪問事業 小城市内の公立・私立全ての保育・幼児教育施設（保育園・幼稚園・認証保育施設（託児所））を訪問し、園の保育のあり方や問題点をともに協議する。</p> <p>2. 小城市幼児教育・保育ネットワーク事業 小城市内の公立・私立全ての保育・幼児教育施設（保育園・幼稚園・認証保育施設（託児所））が情報を共有化して相互の連携を強化し、就学前教育や保育行政に関する意見の交換や職員の研修を行うことにより、子育て支援施策の円滑な実施と一層の充実を図る。</p>				
平成28年度における事業の目標	<p>市内の公立・私立園等を対象にネットワークを構築し、園訪問により把握した園の保育上の問題点を解消したり、保育士を対象にした各種研修の開催により質の高い教育・保育を行える保育士・幼稚園教諭等の育成を目指す。</p>				
平成28年度における取り組み状況等	<p>1. 園訪問事業 教育委員会より訪問を行い、園児の状況や施設の見学を行い、各園と課題・問題点の協議や保護者への対応など意見交換会を行った。また、教育委員からの意見や質問で各施設では気づかないことの検討ができた。</p> <p>なお、保育幼稚園課の訪問事業も実施し、各施設に訪問する機会を増加させ、協議や質問の場を設定した。</p>				

	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成 26 年度</td> <td>平成 27 年度</td> <td>平成 28 年度</td> </tr> <tr> <td>教育委員会訪問 園数</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>保育幼稚園課訪問 園数</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> </table>		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	教育委員会訪問 園数	5	8	5	保育幼稚園課訪問 園数	4	5	4
		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度									
	教育委員会訪問 園数	5	8	5									
保育幼稚園課訪問 園数	4	5	4										
<p>平成 28 年度における取り組み状況等</p> <p>2. 小城市幼児教育・保育ネットワーク事業</p> <p>すべての園児が小学校にスムーズに就学できるように小城市内の公立・市立すべての保育・幼児教育施設が連携を深め、ネットワーク会議や各部会を定期的を開催し、情報共有の場を確保した。</p> <p>また、共通の課題をテーマとした職員研修会を開催し、資質の向上及び施設を超えた保育士・幼稚園教諭間のネットワークづくりや情報交換を行った。</p> <p>平成 22 年から開始したこの事業も定着して参加者も増え、外部から、この事業についての賛辞を受けた。</p> <p>昨年に続き、就学前教育・保育の指針としての「羅針盤」の改正を行なった。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成 26 年度</td> <td>平成 27 年度</td> <td>平成 28 年度</td> </tr> <tr> <td>延べ研修参加者数</td> <td>574</td> <td>646</td> <td>761</td> </tr> <tr> <td>講座数</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> </table>		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	延べ研修参加者数	574	646	761	講座数	7	12	15	
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度										
延べ研修参加者数	574	646	761										
講座数	7	12	15										
<p>平成 28 年度の課題と反省点</p> <p>1. 園訪問事業</p> <p>公立・私立を問わず市内の子どもが通園する施設を対象としており、1 年間ですべての施設を訪問するのは難しいため、課訪問で代用するなど工夫はしたが、教育委員の更なる負担軽減も必要。また、園の行事との関係で、日程調整が難しい。</p> <p>2. 小城市幼児教育・保育ネットワーク事業</p> <p>講師の選定は、市内各園から情報によりスムーズに行ったが、講師の都合と会場借用などで日程調整が難しい。謝金の予算が少なく、講師選定が難しい。</p>													
自己評価	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>												
評価委員会による評価	<p>園訪問やネットワーク事業はよく成果をあげていると思う。</p> <p>園訪問については中・長期的な計画を立て、負担軽減のために教育委員と役割分担した上で、前年度末には訪問園の行事日程に組み込めるよう早めに計画を立てる必要がある。</p> <p>保育園・幼稚園ともに預かる時間の多様化により、正規職員のみでは対応できず、嘱託職員等に依存せざるをえない状況にある。職員の指導力などにばらつきが生じて来るのもやむを得ない。一定の水準を保つうえでも職員の研修は不可欠であるが、その時間確保も難しいという困難な状況が現実のようである。そのような状況下においても子ども達への質の高い教育ができるよう研修の時間は確保してほしい。県内の大学などから講師を選択することにより、経費削減と日程調整が楽になるかも知れない。今後も幼・保・小の連携を深め、意見交換し問題解決へとつなげてほしい。</p> <p>優秀で指導力のある元経験者も市内にはたくさんいると思うが、やはり待遇面で厳しいということをよく聞く。園職員が働く意欲を持てる待遇面、環境面の改善が望まれる。</p> <p>保育士・幼稚園教諭が仕事に対する意欲や負担軽減になっているか等、把握し人材不足にならないよう気配りをお願いしたい。また、各園ひとりの養護教諭配置を希望する。</p>												

評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>園訪問については、新しい職員体制が動き出す4月に年間行事に組み込めるよう、計画を早めに決めていく。</p> <p>職員の資質向上に向けた研修については、正規・非正規全てを対象とし、職員の希望に応じた研修を実施しているので、参加しやすいよう研修の時間や時期を工夫するなどし、研修への参加を促す。講師の確保に向けた情報収集に努め、予算と相談しながら対応していく。</p> <p>各園には、養護教諭ではなく、保育士として働きながら健康管理、病気やけがの対応や指導をしていただく看護師の配置に力を入れていきたい。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	保育幼稚園課	事業番号	13																
基本方針	3. 子育て支援と保育・幼児教育の充実			区分	<input type="checkbox"/> 新規																
施策名	3. 保育・幼児教育の充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続																
基本事業名	3. 保育・幼児教育環境の整備				<input type="checkbox"/> 完了																
平成28年度における事業の概要	<p>1. 保育園施設設備維持管理事業（三里・岩松・小城・砥川保育園） 園児及び保護者が利用しやすいように施設の安全を確保し、より良い保育環境を提供するために、保育施設、遊具、備品等の改修や維持管理を行う。</p> <p>2. 幼稚園施設設備維持管理事業（晴田・三日月・芦刈幼稚園） 次世代を担う園児に対し、基本的な生活習慣を身につけさせることを目標として、子どもたちが「生きる力」を育み成長していくよう、教育内容・施設環境の充実を図る。</p> <p>3. 幼稚園・保育園民営化事業 平成29年度の芦刈幼稚園民営化、平成30年度の岩松保育園の民営化に関連する事業を実施する。</p>																				
平成28年度における事業の目標	<p>公立保育園・幼稚園の子どもたちが安心・安全に施設で過ごせるよう、施設の適切な維持設備の維持管理を行う。</p> <p>公立園のスムーズな民営化を目指す。</p>																				
平成28年度における取り組み状況等	<p>1. 保育園施設設備維持管理事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主な施設設備の整備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 遊具修繕 三保・砥保 厨房機器整備 三保・小保 ワイヤレスアンプ 岩保 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 給食用回転釜 砥川保 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 便器取替 岩保保 未満児トイレ増設 砥保 ミルクミキサー 三保 </td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 幼稚園施設設備維持管理事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主な施設設備の整備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 職員トイレ改修 晴幼 東門改修 三幼 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 下水道接続 三幼 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 手洗い場改修 晴幼 ファンヒーター 晴幼 西門扉取替 三幼 </td> </tr> </tbody> </table>					区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	主な施設設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> 遊具修繕 三保・砥保 厨房機器整備 三保・小保 ワイヤレスアンプ 岩保 	<ul style="list-style-type: none"> 給食用回転釜 砥川保 	<ul style="list-style-type: none"> 便器取替 岩保保 未満児トイレ増設 砥保 ミルクミキサー 三保 	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	主な施設設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> 職員トイレ改修 晴幼 東門改修 三幼 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道接続 三幼 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い場改修 晴幼 ファンヒーター 晴幼 西門扉取替 三幼
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度																		
主な施設設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> 遊具修繕 三保・砥保 厨房機器整備 三保・小保 ワイヤレスアンプ 岩保 	<ul style="list-style-type: none"> 給食用回転釜 砥川保 	<ul style="list-style-type: none"> 便器取替 岩保保 未満児トイレ増設 砥保 ミルクミキサー 三保 																		
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度																		
主な施設設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> 職員トイレ改修 晴幼 東門改修 三幼 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道接続 三幼 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い場改修 晴幼 ファンヒーター 晴幼 西門扉取替 三幼 																		

平成 28 年度における取り組み状況等	<p>3. 幼稚園・保育園民営化事業</p> <p>平成 29 年度の芦刈幼稚園民営化に向けて、保護者や地域への説明、芦刈幼稚園保護者・移管先事業所・保育幼稚園課による三者協議会、移管先事業者の認定こども園整備についての支援、芦刈幼稚園閉園式を実施した。</p> <p>平成 30 年度の岩松保育園民営化に向けて、保護者や地域への説明、岩松保育園保護者・現地説明会やプロポーザルによる移管先事業者選考・保育幼稚園課による三者協議会を実施した。</p>
平成 28 年度の課題と反省点	<p>1・2. 保育園・幼稚園の施設維持管理事業</p> <p>施設の老朽化がすすみ、改修箇所が増加している。民営化の計画とあわせて検討して行く。</p> <p>3. 単年度に 2 園同時の民営化事業実施は、スケジュールが厳しく多忙を極めた。平成 29 年度に次の民営化計画を策定した後は、早めのスケジュール設定を実施していく。</p>
自己評価	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>
評価委員会による評価	<p>どの施設も老朽化が進み改築が必要となっているが、保育園・幼稚園施設設備維持管理事業は、年次計画にもとづき確実に業務が遂行されている。</p> <p>園の民営化は大変な作業であるが、芦刈幼稚園の閉園、並びにスムーズに民営化が行われ、担当課においては遺漏なく確実に推進されていると思う。</p> <p>今後の民営化についても早めの対応や情報提供をお願いしたい。</p> <p>園児の募集の方法についての工夫、市の広報誌による広報ではなく対象児童の保護者へのダイレクトメールなどは考えられないか。</p>
評価判定	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>
評価を踏まえた平成 29 年度以降の取り組みの方向性	<p>公立園の施設維持管理については、緊急性があるものは早急に対応していくが、限られた予算の問題もあるので、次の民営化計画により残る使用年数と見合わせながら対応していく。</p> <p>来年度から、次の民営化計画にかかる保護者や地域への説明を順次開始し、共通理解のもと、子どもたちに負担の少ない民営化を目指していく。</p> <p>園児募集について、ダイレクトメールを出すための個人情報の取得も困難で、教育と保育では募集の方法も異なるなど、ダイレクトメールという手法は難しい。これまでどおり必要な保護者が必要な情報を求めていただく形で実施していく。</p>

平成 28 年度 事業 評価 表		主管課	生涯学習課	事業番号	14
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実	区分			<input type="checkbox"/> 新規
施策名	4. 青少年の健全育成				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	1. 家庭の教育機能の向上				<input type="checkbox"/> 完了
平成 28 年度における事業の概要	家庭教育に関する講座や教室の開催、広報・啓発活動や情報提供など学校や専門の関係機関等が連携を密にした取り組み。				
平成 28 年度における事業の目標	保護者に対する家庭教育機能の向上、支援の充実				

平成28年度における取り組み状況等	<p>今年度は、平成29年3月に子育て中の父母、孫育て中の祖父母や子育て・孫育てに関心のある人を対象に「心とココロのコミュニケーション講座」を開催した。 参加しやすい時間として平日の午前中に開催したが、参加者は少なかった。 また、青少年育成市民会議で「家庭の日」の過ごし方を含めて啓発した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座等参加者数（人）</td> <td>28</td> <td>34</td> <td>16</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	H25	H26	H27	H28	講座等参加者数（人）	28	34	16	9
内 容	H25	H26	H27	H28							
講座等参加者数（人）	28	34	16	9							
平成28年度の課題と反省点	<p>対象を考えて平日開催（託児付き）など検討したが思ったほどの参加者にならなかった。家庭教育については様々な課題解決が求められており、他の業務との連携などを考慮していきたい。また、講座を開催する場合は、広報に努めて多くの参加を促すようにしたい。 また、全国的な取り組みである「第3日曜日は家庭の日」運動の浸透、啓発も課題である。</p>										
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分										
評価委員会による評価	<p>今回の講座については広報がうまくいかなかったように思われる。「第三日曜日は家庭の日」運動はまだまだ一般に浸透していない。とても難しい事だと思うが根気よく啓発活動を続けて欲しい。「心とココロのコミュニケーション講座」の開催にしても「家庭の日」の啓蒙にしても開催日時とその広報が大切となる。講座、教室等の情報提供がもっと必要かと思われる。市民がよく集まる祭りや体育大会等での時間差開催や広報活動をしたらどうか？ 子育て、孫育ての事業については、いろいろと企画が検討され、実施されているところであるが、参加者が増えるように、今年度少なかった要因等をよく分析し、次年度につなげていただきたい。貧困・スマホの取り扱い・食育等の問題軽減になる活動を望む。</p>										
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分										
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>家庭教育の取り組みについては、弱い部分がある。今後は、包括協定を結んでいる大学との連携を視野に、企画に取り組んでいく。 また、貧困・スマホの取り扱い・食育等に関することについても、関係課や、関係団体と協力しながら進めていく。</p>										

平成28年度 事業評価表		主管課	生涯学習課	事業番号	15
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実	区分			<input type="checkbox"/> 新規
施策名	4. 青少年の健全育成				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	2. 青少年健全育成体制と活動の充実				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	<p>青少年育成市民会議の一層の充実・活用を図るとともに、各校区の青少年育成会など関係機関・団体が一体となった青少年健全育成のネットワークの形成等、活動の強化。 地域で青少年を育てる環境づくりを行う各地区青少年育成会及び小城市青少年育成市民会議の活動の支援。</p>				

平成 28 年度における事業の目標	青少年の健全育成を担っている組織のコーディネートをしっかりを行いながら事業を展開していく。																																								
平成 28 年度における取り組み状況等	<p>1. 小城市青少年育成市民会議 市民総意による青少年の健全育成活動を実施する団体として、市内の小中学校区を単位とした 7 つの育成会ネットワークを組み、事業に取り組んだ。</p> <p>① 子どもの安全を地域で見守る会 ② 地域環境点検活動 ③ 少年少女の声大会及び善行、功労者表彰 ④ モデル子どもクラブ発表会 ⑤ 「早寝早起き朝ごはん」運動ののぼり旗の設置</p> <p>そのほか各地区青少年育成会毎に工夫を凝らしながら事業に取り組まれた。</p>																																								
	<table border="1" data-bbox="379 680 1374 965"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもの安全を地域で見守る会参加者数 (人)</td> <td>340</td> <td>290</td> <td>304</td> <td>251</td> </tr> <tr> <td>地域環境点検活動箇所数 (箇所)</td> <td>33</td> <td>18</td> <td>36</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>少年少女の声大会参加者数 (人)</td> <td>210</td> <td>300</td> <td>290</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>モデル子どもクラブ発表会参加者数 (人)</td> <td>300</td> <td>335</td> <td>350</td> <td>417</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 「早寝早起き朝ごはん」カレンダー作成 標語・原画を夏休みを利用して募集し、優秀作品によるカレンダー5,500部を作成。幼稚園、保育園の園児、小学生、中学生の世帯等に配布し、啓発を図った。</p> <table border="1" data-bbox="450 1151 1300 1335"> <thead> <tr> <th>内 容 \ 年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標語応募数</td> <td>610</td> <td>512</td> <td>495</td> <td>241</td> </tr> <tr> <td>原画応募数</td> <td>82</td> <td>165</td> <td>185</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 牛津っ子支援ネットワーク「牛津っ子つうしん」 牛津地区内の子どもに関する様々な行事等を毎月 1 回情報紙として作成し、牛津地区内に配布。子どもたちの様子がよくわかると好評を得ている。</p>	内 容	H25	H26	H27	H28	子どもの安全を地域で見守る会参加者数 (人)	340	290	304	251	地域環境点検活動箇所数 (箇所)	33	18	36	20	少年少女の声大会参加者数 (人)	210	300	290	282	モデル子どもクラブ発表会参加者数 (人)	300	335	350	417	内 容 \ 年 度	H25	H26	H27	H28	標語応募数	610	512	495	241	原画応募数	82	165	185	120
内 容	H25	H26	H27	H28																																					
子どもの安全を地域で見守る会参加者数 (人)	340	290	304	251																																					
地域環境点検活動箇所数 (箇所)	33	18	36	20																																					
少年少女の声大会参加者数 (人)	210	300	290	282																																					
モデル子どもクラブ発表会参加者数 (人)	300	335	350	417																																					
内 容 \ 年 度	H25	H26	H27	H28																																					
標語応募数	610	512	495	241																																					
原画応募数	82	165	185	120																																					
平成 28 年度の課題と反省点	<p>青少年が豊かな人間関係を育み健全に成長していくために、家庭、学校、地域が連携、協力し、世代を超えて交流し、子どもの成長を見守ることが必要である。</p> <p>近年、子ども達のスマートフォンの利用について注意を促す必要があることから、三日月小中学校育友会が中心となり、スマホの取扱いルールを決められたことに続き、牛津地区育成会でも取り組まれており、市内一円にも広めていく必要がある。</p> <p>また、牛津っ子支援ネットワーク発行の「牛津っ子つうしん」のような取り組みなど、各校区での特色ある取り組みが市内に広がるような支援等が求められている。</p>																																								
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分																																								

評価委員会による評価	<p>子どもの安全を地域で見守る会、少年少女の声大会、モデル子どもクラブ発表会などへの参加者数は多く、これらの運動等がよく理解されている証左だと思う。早寝早起き朝ごはんカレンダー作成の取り組みは、深く根付いてきている。校区ごとの青少年健全育成活動は地区によって温度差はあるが、他地区のよい事例を情報交換しあいたい。活発な地域には当然ながら熱心な指導者が多い。よき指導者の人材発掘も大切な作業と思われる。</p> <p>スマホの取り扱いルール、牛津っ子つうしんの小城市全体への早期拡大が望まれる。</p>
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>各地区青少年育成会の取り組みについて、様々な事業を活用しながら活性化に向けて、情報提供や支援に取り組んでいく。育成会の担当者同士でも情報交換に努め、全市で取り組むべきものについては、少しでも広げて行けるよう支援を行う。</p> <p>牛津っ子つうしんの拡大につながるよう、公民館だより、市報、ホームページ等での情報提供に努めていく。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	生涯学習課	事業番号	16
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実	区分	区 分	区 分	<input type="checkbox"/> 新規
施策名	4. 青少年の健全育成				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	3. 健全な社会環境づくり				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	<p>青少年の問題は大人の問題として、有害環境の浄化や非行の防止等を図るため、関係機関・団体を中心とした市民の主体的な活動の促進。また、家庭や学校、青少年団体等と連携を密にし、子どもに対する体罰、いじめのない健全な社会環境づくり。</p>				
平成28年度における事業の目標	<p>青少年の健全育成を担っている組織が、滞りなく事業展開できるよう支援を行う。</p>				
平成28年度における取り組み状況等	<p>1. 青色回転灯車による防犯パトロール 平成18年6月の発足。小城市内を定期的に巡回することにより犯罪の未然防止に寄与すると共に、子ども達を含む小城市民の安全・安心への啓発と意識改革に努めた。活動は7地区の育成会で、毎週1回以上、児童生徒の下校時に見守り活動を実施している。青パト活動は、地域に浸透している。</p> <p>2. 社会環境点検活動 11月に地域環境点検活動を市内書店2ヶ所、ビデオ販売（レンタル）店1ヶ所、酒類・タバコ販売店17ヶ所、自動販売機2ヶ所の計20ヶ所で実施。分離陳列やステッカー表示などを主に点検した。（20ヶ所 18店舗優良認定店として認定）</p> <p>3. 危険箇所点検 危険箇所看板設置や、ため池等に設置しているポリタンクの点検を実施した。</p>				
平成28年度の課題と反省点	<p>青少年育成会の活動において、子ども達を見守る体制ができている。子どもを見守る市民の意識は高く、青パト講習、こども110番の家講習への参加者も多い。今後もこの状況を維持していくことが必要である。</p>				

自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価委員会による評価	<p>青色回転灯車による防犯パトロール、社会環境点検活動、危険箇所点検など各校区ごとに当番役割等を計画され、よく実行され、成果を出している。</p> <p>とくに、青パト活動は10年以上も続き、子どもの下校時、青パトをよく見かける。しっかりと子ども達を見守る体制が出来ているのだろう。市民の意識が高くなってきていることも大いに評価出来る。</p> <p>危険箇所点検の際、防犯に関する古くなった看板の撤去も重ねてお願いしたい。</p>
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>引続き滞りなく青少年の安全を確保する防犯パトロール等各活動が実施できるよう支援を行っていく。</p> <p>また、点検活動の折には、適切な点検活動が実施できるよう、情報提供等を行っていく。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	生涯学習課	事業番号	17																								
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実	区 分			<input type="checkbox"/> 新規																								
施策名	4. 青少年の健全育成				<input checked="" type="checkbox"/> 継続																								
基本事業名	4. 青少年の体験・交流活動への参画促進				<input type="checkbox"/> 完了																								
平成28年度における事業の概要	<p>青少年には体験・交流活動やボランティア活動、文化・スポーツ活動等への参画機会の充実を図り、保護者や少年スポーツ団体に対しては、地域の青少年活動へ積極的な参画と理解の働きかけに努める。また、青少年の居場所づくりを地域と一体となって進めた。</p>																												
平成28年度における事業の目標	<p>①放課後子ども教室の活動を広げていく。 ② 魅力的な体験プログラムを提供する。 ③佐賀県子どもクラブ球技大会を開催する。</p>																												
平成28年度における取り組み状況等	<p>1. 放課後子ども教室推進事業</p> <p>週末等に子ども達の安全・安心な活動拠点を設け、地域の方や地元高校生の参画を得、自然体験やコミュニケーション形成を行う事業を公民館毎に実施した。小城・三日月合同でのキッズスクール事業を見直し、新たに小城町放課後子ども教室事業を桜岡、岩松、晴田青少年健全育成会に委託により実施。三日月は通学合宿を事業の対象とし、牛津は津の里ミュージアム、芦刈は芦刈ちゃれんじすくーるを引き続き実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>延べ人数 (子ども)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小城・三日月キッズスクール</td> <td>参加者数 (人)</td> <td>147</td> <td>73</td> <td>71</td> <td>終了</td> </tr> <tr> <td>小城 桜岡子ども教室</td> <td>参加者数 (人)</td> <td colspan="3">放課後対象外</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>小城 岩松土曜寺子屋</td> <td>参加者数 (人)</td> <td colspan="3">放課後対象外</td> <td>194</td> </tr> </tbody> </table>					内 容	延べ人数 (子ども)	H25	H26	H27	H28	小城・三日月キッズスクール	参加者数 (人)	147	73	71	終了	小城 桜岡子ども教室	参加者数 (人)	放課後対象外			26	小城 岩松土曜寺子屋	参加者数 (人)	放課後対象外			194
内 容	延べ人数 (子ども)	H25	H26	H27	H28																								
小城・三日月キッズスクール	参加者数 (人)	147	73	71	終了																								
小城 桜岡子ども教室	参加者数 (人)	放課後対象外			26																								
小城 岩松土曜寺子屋	参加者数 (人)	放課後対象外			194																								

	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>延べ人数(子ども)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小城 晴田青少健土曜教室</td> <td>参加者数(人)</td> <td colspan="3">放課後対象外</td> <td>520</td> </tr> <tr> <td>三日月通学合宿</td> <td>参加者数(人)</td> <td colspan="3">放課後対象外</td> <td>台風のため中止</td> </tr> <tr> <td>牛津津の里ミュージアム</td> <td>参加者数(人)</td> <td>1,094</td> <td>983</td> <td>1,080</td> <td>989</td> </tr> <tr> <td>芦刈ちゃれんじすくーる</td> <td>参加者数(人)</td> <td>261</td> <td>215</td> <td>86</td> <td>129</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	延べ人数(子ども)	H25	H26	H27	H28	小城 晴田青少健土曜教室	参加者数(人)	放課後対象外			520	三日月通学合宿	参加者数(人)	放課後対象外			台風のため中止	牛津津の里ミュージアム	参加者数(人)	1,094	983	1,080	989	芦刈ちゃれんじすくーる	参加者数(人)	261	215	86	129
	内 容	延べ人数(子ども)	H25	H26	H27	H28																									
	小城 晴田青少健土曜教室	参加者数(人)	放課後対象外			520																									
	三日月通学合宿	参加者数(人)	放課後対象外			台風のため中止																									
	牛津津の里ミュージアム	参加者数(人)	1,094	983	1,080	989																									
	芦刈ちゃれんじすくーる	参加者数(人)	261	215	86	129																									
平成 28 年度における取り組み状況等	<p>2. 通学合宿 異年齢の中で社会のルールや自活する力を養う体験事業 ・三日月 3泊4日 (台風のため中止) ・芦刈 6泊7日 17人参加</p> <p>3. 4町交流夏休み子ども宿泊体験 芦刈保健福祉センター ひまわり(宿泊) 天山登山、創作活動(作って遊ぼう)、レクリエーション(交流体験)、防災食体験</p> <p>4. 訪韓少年の翼派遣事業 県子ども会連合会主催 訪韓少年の翼参加者 1人</p> <p>5. 子どもクラブ球技大会運営 ミニバレーボール・ドッチビー(28年度より新種目) 地区大会(桜岡・岩松・晴田) 市大会(牛津体育センター・芦刈文化体育館) 県大会(会場 牛津体育センター・芦刈文化体育館・芦刈観瀾校体育館)</p>																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通学合宿(三日月)参加者数(人)</td> <td>22</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>通学合宿(芦刈)参加者数(人)</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>4町交流宿泊研修参加者数(人)</td> <td>23</td> <td>中止</td> <td>37</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>訪韓の翼参加者数(人)</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>子どもクラブ球技大会参加チーム(数)</td> <td>44</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	H25	H26	H27	H28	通学合宿(三日月)参加者数(人)	22	25	15	中止	通学合宿(芦刈)参加者数(人)	18	18	18	17	4町交流宿泊研修参加者数(人)	23	中止	37	37	訪韓の翼参加者数(人)	5	2	3	1	子どもクラブ球技大会参加チーム(数)	44	42	42	39
内 容	H25	H26	H27	H28																											
通学合宿(三日月)参加者数(人)	22	25	15	中止																											
通学合宿(芦刈)参加者数(人)	18	18	18	17																											
4町交流宿泊研修参加者数(人)	23	中止	37	37																											
訪韓の翼参加者数(人)	5	2	3	1																											
子どもクラブ球技大会参加チーム(数)	44	42	42	39																											
平成 28 年度の課題と反省点	<p>放課後子ども教室推進事業は小城町校区の桜岡、岩松及び晴田校区で事業を実施した。事業未実施の三里校区は平成 30 年度事業実施に向けて受託体制等の検討を開始されており、継続した支援を実施する。また、限定的な取り組みとなる三日月校区についてどのように広げていくことができるかが、今後の課題である。</p>																														
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分																														
評価委員会による評価	<p>青少年には体験・交流活動やボランティア活動、文化・スポーツ活動等への参画機会の充実を図り、保護者や少年スポーツ団体に対しては、地域の青少年活動へ積極的な参画と理解の働きかけに努めた。また、青少年の居場所づくりを地域と一体となって進めた。とくに、桜岡子ども教室、岩松土曜寺子屋、晴田青少年土曜教室の新規事業に多くの子どもが参加した。行事の内容が充実しているのだろうと思う。また、岩松、晴田両校ともに学校サイドから子ども達に参加を促すような働きかけがなされ、時には先生方の参加もあり、うまく学社連携がなされている。町交流、宿泊研修は参加者が増加しており良い傾向にあると思う。</p>																														

	キッズスクール事業を見直し、放課後子ども教室事業を新しい形で実施するなど色々工夫されている様子がうかがえる。どれも継続的に行われていくことを希望する。三日月校区については終了や中止となり残念だった。
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	校区に1つに1クラブの設置を目指している放課後子ども教室について、まだ未設置の三里校区、三日月校区での実施に向けて取り組んでいく。 また、子ども達の居場所、学習の場として全ての公民館・支館の空き室やロビーを長期休業中に開放していく。

平成28年度 事業評価表		主管課	生涯学習課	事業番号	18										
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実	区分			<input type="checkbox"/> 新規										
施策名	4. 青少年の健全育成				<input checked="" type="checkbox"/> 継続										
基本事業名	5. 青少年団体、指導者の育成				<input type="checkbox"/> 完了										
平成28年度における事業の概要	各種青少年団体及び育成団体の活動を、より一層支援していくと共に、指導者養成講座の開催等を通じて青少年の健全育成や青少年スポーツ活動の振興など青少年健全育成の指導者等の育成。														
平成28年度における事業の目標	次代を担う青少年が健やかに育つように、市民と一体となった健全育成活動を展開する。														
平成28年度における取り組み状況等	<p>1. 青少年育成会への支援 各地区の青少年育成会の運営について、支援すると共に、事務局相互で密に連携をとる体制をとっている。</p> <p>2. 青少年スポーツ指導者等講習会の開催 青少年スポーツクラブ指導者や保護者、及びスポーツ推進委員等スポーツ指導関係者を対象に子どもを取り巻く状況や日常のスポーツ活動と安全配慮等、スポーツ活動の望ましい環境づくりについての講習会を開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年スポーツ指導者講習会参加者数（人）</td> <td>41</td> <td>26</td> <td>21</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>					内 容	H25	H26	H27	H28	青少年スポーツ指導者講習会参加者数（人）	41	26	21	55
内 容	H25	H26	H27	H28											
青少年スポーツ指導者講習会参加者数（人）	41	26	21	55											
平成28年度の課題と反省点	青少年育成会への支援については、担当者が変更になる地区も出てくることへの不安の声も一部出たこともあり、より一層の連携を図っていく。 スポーツ指導者等講習会はより一層の啓発を図り参加を促していく。														
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分														

評価委員会による評価	<p>青少年育成会への資金補助が各地区育成会の活動基金となっているので、今後も支援を継続していただきたい。また校区育成会も事業の効果などを点検し、有意義に活用してほしい。</p> <p>少年少女スポーツ指導者等講習会の開催については参加者が倍増するなど成果を上げた。テーマによって参加者の増減があるようだが、参加者のニーズに合ったテーマで啓発を図れたことはよかった。指導者等講習会は子ども達の健やかなスポーツへの参加を促す為の大切な講習会だと思うので、引き続き魅力あるものとして、少し参加を義務づける事も考慮して欲しい。</p>
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>各地区育成会へは、県・県民会議など様々な事業の情報提供に努めながら、事業の効果についても適時点検してもらい、有意義な活動へと促していく。</p> <p>指導者等講習会については、今後も受講者のニーズを踏まえた講習会を開催していく。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	生涯学習課	事業番号	19
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実	区分			<input type="checkbox"/> 新規
施策名	5. 生涯学習の充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	1. 生涯学習推進体制の充実				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	<p>いつでも、どこでも、だれでも、生涯学習に取り組めるよう、公民館をはじめとする社会教育施設には生涯学習の相談に応じ、支援する専門員を配置し、市内外の生涯学習関連情報の収集とわかりやすい情報の提供に努めるなど生涯学習を支援する体制を保つ。</p> <p>社会教育委員の活動の支援。</p>				
平成28年度における事業の目標	<p>① 公民分館長の活動支援。</p> <p>② 生涯学習振興計画改定に向けた生涯学習アンケートの実施。</p>				
平成28年度における取り組み状況等	<p>1. 公民分館長としての活動、自治公民館活動の一層の充実のため作成した「小城市公民館分館長マニュアル」を活用し、分館長会議の際に説明を行った。</p> <p>2. 社会教育委員の会議開催等 年4回の会議を行い、「生涯学習振興計画」改定に伴う「生涯学習アンケート」の内容検討を行った。(アンケート 16歳以上対象 2000人 回収数 550人 27.5%)</p> <p>3. 九州ブロック社会教育研究大会などに参加し、情報収集、研修に努めた。</p>				
平成28年度の課題と反省点	<p>1. アンケート結果を受け、社会教育委員の会議で生涯学習振興計画の改定に向けて、よりよく議論してもらえるよう取り組んでいく。</p> <p>2. 公民館支援員の配置について財政面から勤務時間数が減となり、事業実施にあたり動きづらい面がでてきている。</p>				
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				

評価委員会による評価	<p>小城市公民分館長マニュアルを活用し、公民分館長としての活動、自治公民館活動の一層の充実を図ったこと、社会教育委員の会議（年4回）、生涯学習振興計画改定に伴う「生涯学習アンケート」の内容検討・実施したこと、九州ブロック社会教育研究大会などに参加し、情報収集、研修に努めたことは評価できる。</p> <p>公民館支援員の配置については財政面など中々大変だと思うが、今まで同様の確保に努めていただきたい。</p> <p>また、生涯学習関連情報の収集（市民の要望）と、わかりやすい情報の提供がもっと必要ではないか、市街地区ではどのような取り組みがなされているか、知る必要があるかと思われる。</p> <p>生涯学習アンケートで把握されたことは、ぜひ公民館事業に生かしていただきたい。とくに問い11で尋ねられた生涯学習の機会については、住民の要望が事業に反映するようにしてほしい。</p>
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>今年度策定の生涯学習推進計画については、市民アンケート、社会教育委員の会等多くの意見をいただきながら策定を行っていく。</p> <p>また、生涯学習に関する情報収集や発信については、もっと市民に周知できるよう工夫改善を行っていく。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	生涯学習課	事業番号	20															
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実	区分			<input type="checkbox"/> 新規															
施策名	5. 生涯学習の充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続															
基本事業名	2. 生涯学習関係施設の整備充実・機能強化				<input type="checkbox"/> 完了															
平成28年度における事業の概要	生涯学習の拠点である公民館や図書館、歴史資料館等の施設の特性を活かした施設・設備の充実を図り、安全で快適な学習環境の提供と利便性を図る。また、その他数多く存在する生涯学習関連施設の利用情報の提供に努める。																			
平成28年度における事業の目標	公民館施設の適正な管理及び運営、及び、三日月野外研修センタートイレ改修工事、小城公民館岩松支館屋根部分張替工事等衛生的で安心して活用するための整備を行う。																			
平成28年度における取り組み状況等	<p>1. 自治公民館建設補助事業 補助対象経費の10%以内 限度額200万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治公民館建設事業補助件数(件)</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>自治公民館建設事業補助金額(円)</td> <td>930,000</td> <td>780,000</td> <td>118,000</td> <td>1,230,000</td> </tr> </tbody> </table>					内 容	H25	H26	H27	H28	自治公民館建設事業補助件数(件)	8	3	3	4	自治公民館建設事業補助金額(円)	930,000	780,000	118,000	1,230,000
内 容	H25	H26	H27	H28																
自治公民館建設事業補助件数(件)	8	3	3	4																
自治公民館建設事業補助金額(円)	930,000	780,000	118,000	1,230,000																

平成28年度における取り組み状況等	<p>2. 公立公民館等の計画的整備及び緊急補修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小城公民館支館補修（岩松6件、晴田5件、三里5件） ・生涯学習センター補修（13件） ・三日月野外研修センタートイレ改修工事及び天井補修工事 ・小城公民館岩松支館屋根部分張替工事 ・旧小城公民館桜岡支館解体工事
平成28年度の課題と反省点	<p>① 小城公民館岩松、晴田及び三里支館・野外研修センターの施設の老朽化が進んでいる。</p> <p>② 社会教育施設整備計画の策定が必要である。</p>
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価委員会による評価	<p>公立公民館の整備・補修については限られた予算の中で計画的に実施されている。他にも老朽化が進んでいる施設もあるので引き続き計画をお願いしたい。老朽化が進んでいる支館等は地域の利便性を考慮すると建て替えも必要ではないだろうか。</p> <p>補助事業については予算があるにもかかわらず予算を消化していない。</p> <p>新築された市民交流プラザの活用状況はどうか。活発に利用されているか。</p>
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>公共施設等総合管理計画の生涯学習課が所管する施設の個別計画の策定を進め、計画的に改修等ができるよう進めていく。</p> <p>また、緊急を要する事案が発生した場合には、安全を重視し、その都度対応を行っていく。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	生涯学習課	事業番号	21
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実	区分	区分	区分	<input type="checkbox"/> 新規
施策名	5. 生涯学習の充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	3. 指導者の育成・登録・派遣体制の充実				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	<p>学習の成果を地域へ還元していく循環型社会の構築や、様々な分野における指導者やボランティアの育成などを図るとともに、地域の多様な人材を発掘・登録し、その有効活用の積極的な推進。</p>				
平成28年度における事業の目標	<p>市民の学習の成果が様々な分野で生かされるよう支援する。</p>				
平成28年度における取り組み状況等	<p>1. 小城市文化連盟文化人財バンク</p> <p>小城市文化連盟で、個人・団体の持つ技術、技能を活かし地域の文化芸術活動をサポートするため、各種文化教室や学校での体験活動などの実技指導、講義等の講師紹介、派遣を行う「小城市文化連盟文化人財バンク」制度を運用している。</p>				

<p>平成28年度における取り組み状況等</p>	<p>2. 学校・地域夢つなぎ事業 学校と地域を連携させるコーディネーターを配置し、地域ボランティアによる学校支援の取り組みを芦刈地区で実施している。</p> <table border="1" data-bbox="379 318 1369 483"> <thead> <tr> <th>学校・地域夢つなぎ事業</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人材登録者数 (人)</td> <td>196</td> <td>174</td> <td>175</td> <td>173</td> </tr> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>125</td> <td>139</td> <td>106</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数 (人)</td> <td>637</td> <td>743</td> <td>632</td> <td>597</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 社会教育主事資格取得 公民館職員の資質向上のための講習参加（資格取得） 平成22年度から毎年1人職員が講習会に参加し、生涯学習業務全般に活かしている。 平成29年3月31日現在 教育委員会部局 7人 市長部局 6人</p> <p>4. 砥川地域連携室 砥川地域連携室開設前は、砥川小学校の学校長が教育サポーターのコーディネート業務を行っていたが、連携室開設後は、支援員を配置し業務を引き継ぎ、学校からの依頼に対して教育サポーターとの連絡調整を行い、学校への派遣を行っている。また、新たな教育サポーターの発掘も行っている。地域と学校とを結ぶ拠点としてスタートした。</p>	学校・地域夢つなぎ事業	H25	H26	H27	H28	人材登録者数 (人)	196	174	175	173	実施回数 (回)	125	139	106	100	参加延べ人数 (人)	637	743	632	597
学校・地域夢つなぎ事業	H25	H26	H27	H28																	
人材登録者数 (人)	196	174	175	173																	
実施回数 (回)	125	139	106	100																	
参加延べ人数 (人)	637	743	632	597																	
<p>平成28年度の課題と反省点</p>	<p>1. 地域の多彩な技術・技能を持った人材を発掘すると共に、その人材の活用及び学習機会の提供など、地域活動に必要な人材の発掘と養成が求められている。（文化関係以外の人材バンク）</p> <p>2. 砥川地域連携室については、コミュニティスクールのモデルとなれるよう、関係者の理解も求めていく必要がある。</p>																				
<p>自己評価</p>	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>																				
<p>評価委員会による評価</p>	<p>各種文化教室や学校での体験活動などの実技指導、講義等の講師紹介、派遣を行う「小城市文化連盟文化人財バンク」制度の運用、学校と地域を連携させるコーディネーターを配置し、地域ボランティアによる学校支援の取り組みを芦刈地区で実施している「学校・地域夢つなぎ事業」、安定した「社会教育主事資格の取得」、学校からの依頼に対して教育サポーターとの連絡調整を行い、学校への派遣を行っている「砥川地域連携室」の設置など評価できる。</p> <p>学校教育領域でも話題となったが、地域の住民が学校に入り、協力・支援をすることは課題点もあろうが、有意義だと思うし、その結果は芦刈校区で如実に成果として表れている。いじめ・不登校など生徒指導的な面でもいい結果が得られると思う。</p> <p>現在では芦刈、砥川校区のみの実践のようであるが他の校区でも是非、推進してほしい。</p> <p>学校と地域がいろいろな形で連携し人材を有効活用できる制度は、今後も積極的に進めてほしい。また、学校の理解も必要となるので懸け橋となるよう活動を進めてほしい。</p> <p>砥川地域連携室の更なる活用を深めてほしい。 (2階にあるため、膝の悪いご年配者には場所の不評を耳にした)</p>																				
<p>評価判定</p>	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>																				

評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>学校の規模や地域性などにより、各小中学校における課題には差異があるなか、学校の要望を聞きながら連携し、子ども達を支える取り組みを行っていく。</p> <p>スモールスタートを切った砥川地域連携室については、他市事例も参考にしながら、活用の幅、学校支援の充実を図っていく。</p>
--------------------------	--

平成28年度 事業評価表		主管課	生涯学習課	事業番号	22																				
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実	区 分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 完了																						
施策名	5. 生涯学習の充実																								
基本事業名	4. 市民のニーズに合った特色のある学習プログラムの整備と提供																								
平成28年度における事業の概要	<p>地域の特性を活かした独自の自然体験学習プログラムや、各世代、時代に即した市民ニーズに応えるプログラム、行政課題に対応したプログラム等を整備すると共に、生涯学習に関するわかりやすい情報の提供に努める。</p>																								
平成28年度における事業の目標	<p>幅広いニーズに即した学習環境の整備を図るため、4地区公民館合同で実施する体験講座を充実させる。</p>																								
平成28年度における取り組み状況等	<p>1. 各公民館で、年代に応じた多様な学習機会の場として各種講座を開催</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">小城公民館</td> <td style="width: 25%;">女性学級</td> <td style="width: 25%;">小城町大人塾</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>三日月公民館</td> <td>晩成大学</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>牛津公民館</td> <td>津の里ミュージアム、高齢者学級</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>芦刈公民館</td> <td>ちゃれんじすくーる、成人学級</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>全市</td> <td>小城市公民館体験講座</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					小城公民館	女性学級	小城町大人塾		三日月公民館	晩成大学			牛津公民館	津の里ミュージアム、高齢者学級			芦刈公民館	ちゃれんじすくーる、成人学級			全市	小城市公民館体験講座		
小城公民館	女性学級	小城町大人塾																							
三日月公民館	晩成大学																								
牛津公民館	津の里ミュージアム、高齢者学級																								
芦刈公民館	ちゃれんじすくーる、成人学級																								
全市	小城市公民館体験講座																								
平成28年度における取り組み状況等	<p>2. 人権学習の実施</p> <p>各地区公民館で実施していた懇談会を見直し、各公民館等で計8回の映画会を、人権同和对策室が主体となり開催した。(小城市社会人権・同和教育推進協議会企画委員として社会教育係・各公民館社会教育指導員対応)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">心にひびけ！映画会の実施</th> <th style="width: 10%;">小城</th> <th style="width: 10%;">三日月</th> <th style="width: 10%;">牛津</th> <th style="width: 10%;">芦刈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブタがいた教室（食育・命）</td> <td>30</td> <td>49</td> <td>49</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>あん（ハンセン病）</td> <td>161</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>ペコロスの母に会いに行く（認知症・介護）</td> <td>-</td> <td>72</td> <td>125</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>					心にひびけ！映画会の実施	小城	三日月	牛津	芦刈	ブタがいた教室（食育・命）	30	49	49	21	あん（ハンセン病）	161	-	-	64	ペコロスの母に会いに行く（認知症・介護）	-	72	125	-
心にひびけ！映画会の実施	小城	三日月	牛津	芦刈																					
ブタがいた教室（食育・命）	30	49	49	21																					
あん（ハンセン病）	161	-	-	64																					
ペコロスの母に会いに行く（認知症・介護）	-	72	125	-																					
平成28年度の課題と反省点	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座について、参加者を増やし自主サークルへとつなげるようなもの、また、地域の課題解決に繋がるプログラムの検討が必要である。 人権学習については、天候により参加者が少なかった上映もあり、時期等について検討が必要である。 																								
自己評価	<p>A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分</p>																								

評価委員会による評価	<p>各種講座については参加人数が分からないが、参加者を増やし自主サークルへとつなげるためには各年代の興味・関心、必要性、地域の課題などを調査する必要がある。また、課題解決に繋がるプログラムの検討も必要である。</p> <p>各地区公民館で実施していた懇談会を見直し、人権学習映画会を実施したことは気負わずに参加でき、大変良かった。人権学習は皆が認識しなければならない課題である事を理解してもらうためにも時期等について検討し、上映していない地区への上映をして欲しい。</p> <p>また、高齢者を対象とした各種講座は盛況であるが、一般を対象とした事業は少ない。一般の人達は普段忙しくて講座を受講する等時間的な余裕はないだろうが、学習したいという欲求は持っている。社会教育アンケートなどで調査した希望する内容を具現化してほしい。</p>
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>人権学習については、人権同和对策室に協力しながら啓発事業を進めて行く。</p> <p>社会人を対象とした講座は、時間の設定等難しいところがあるが、どのようなニーズがあるかを把握し対応していく。</p> <p>また、今後は自ら学ぼうという自主活動につながるきっかけとなる講座を計画していく。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	生涯学習課	事業番号	23																
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実			区分	<input type="checkbox"/> 新規																
施策名	5. 生涯学習の充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続																
基本事業名	5. 生涯学習関係団体との連携				<input type="checkbox"/> 完了																
平成28年度における事業の概要	社会教育団体の自立に向けた活性化を促すため、団体の自主性を尊重しつつ、相談体制の充実や指導・助言に努める。																				
平成28年度における事業の目標	社会教育団体の支援、連携を図っていく。																				
平成28年度における取り組み状況等	<p>1. 社会教育団体等への支援 社会教育関係団体への補助交付 2団体 200万円 小城市こども未来塾あゆの会活動支援 全国競技大会等出場奨励（社会教育分野）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数（件）</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>人数（人）</td> <td>37</td> <td>16</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>補助額（円）</td> <td>342,000</td> <td>141,000</td> <td>210,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 支援体制 嘱託職員を配置し、社会教育団体等の相談、指導・助言を行っている。</p>						H26	H27	H28	件数（件）	15	13	16	人数（人）	37	16	22	補助額（円）	342,000	141,000	210,000
	H26	H27	H28																		
件数（件）	15	13	16																		
人数（人）	37	16	22																		
補助額（円）	342,000	141,000	210,000																		

平成28年度の課題と反省点	1. 様々な事業、取り組みにより地域貢献に努めている地域婦人会の会員が年々減少している。				
	内 容	H25	H26	H27	H28
	地域婦人会会員数（人）	328	301	291	273
	2. 社会教育関係団体は、それぞれの設立の趣旨・目的に沿って、時代の変化や構成員の価値観、ニーズに沿った活動内容の充実により自立した活動の展開が求められている。				
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				
評価委員会による評価	<p>「社会教育関係団体への補助交付（2団体 200万円）」の活動内容とその参加者数、補助金額が明確でない。「小城市こども未来塾あゆの会活動支援」「全国競技大会等出場奨励（社会教育分野）」についても同様である。</p> <p>他自治体では、5人以上で構成され、申請のあった団体を社会教育関係団体として認定し、施設利用などの便宜をはかったり、育成補助を行ったりしているが、小城市の社会教育関係団体という捉え方の認識の違いがあるように感じられる。いずれにせよ住民の学ぶ意欲を支えるような団体育成施策を継続していただきたい。</p> <p>地域婦人会の会員の減少問題は、時代の流れと言えばそれまでだが何とかならないだろうか。活動に対する熱意を共有する形づくりやその仕掛けを会員で考え直してもらう必要があると思う。</p> <p>婦人会の存続については、多久市の解散を参考に別の活動や地域貢献へと代替できないか検討してみるのもいいのでは？</p>				
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>文化連盟を始めとした団体を社会教育団体として、施設利用等などの便宜を図り育成の支援を引き続き行っていく。新たな団体育成のため、小城市公民館生涯学習活動団体登録制度を設けており、制度の周知に努める。</p> <p>婦人会については、若い世代の加入が少なく会員数が減少し高齢化が進んでいるため、婦人会活動についての周知を行いながらその取り組みを理解してもらい、積極的な加入促進を図るよう支援を行っていく。</p>				

平成28年度 事業評価表		主管課	文化課	事業番号	24
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実			区 分	<input type="checkbox"/> 新規
施策名	5. 生涯学習の充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	6. 図書館利用の推進				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	<p>(1) 図書館運営事業の充実</p> <p>(2) 学校図書館との連携及び支援</p> <p>(3) 『第二次小城市子どもの読書活動推進計画』の推進</p> <p>(4) 雑誌スポンサー制度の開始</p>				

平成28年度における事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる自己学習の場を提供し、教育及び文化の発展に寄与するため、自由で公平な資料と情報の提供に努める。 ・図書館は人と人、本と人が出会う広場であり、心の安らぎの場所でもある。そのための雰囲気づくりや事業を行うように努める。 ・小城市に関する資料を積極的に収集し、市の歴史や文化を伝えて行く場とし、市民の声を広く聞き、市や社会状況に常に敏感な図書館を目指す。 												
平成28年度における取り組み状況等	<p>(1) 図書館運営事業の充実 図書館に親しんでもらえるよう「ヤマネコモ布絵本原画展」、「ぬいぐるみおとまり会」を行った。</p> <p>(2) 学校図書館との連携及び支援 図書館と学校図書館との合同研修会の開催 4月26日</p> <p>(3) 『第二次小城市子どもの読書推進計画』の推進 「おとうさんおはなし会」の開催 6月18日</p> <p>(4) 雑誌スポンサー制度を開始した。</p> <p>実績</p> <table border="1" data-bbox="443 788 1388 958"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出点数</td> <td>388,191点</td> <td>384,728点</td> <td>362,797点</td> </tr> <tr> <td>入館者数</td> <td>117,542人</td> <td>181,422人</td> <td>182,587人</td> </tr> </tbody> </table>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	貸出点数	388,191点	384,728点	362,797点	入館者数	117,542人	181,422人	182,587人
	平成26年度	平成27年度	平成28年度										
貸出点数	388,191点	384,728点	362,797点										
入館者数	117,542人	181,422人	182,587人										
平成28年度の課題と反省点	<p>(1) 入館者は増加しているが、貸出点数は減少している。</p> <p>(2) 雑誌スポンサー制度を実施したが、平成28年度は1社のみであった。もっとPRに努める必要がある。</p>												
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分												
評価委員会による評価	<p>図書の貸出点数は減少しているが、入館者は増加している。</p> <p>社会教育施設としての市民図書館の存在は極めて大きく、市民の読書意欲、学習意欲に大きく応えている。職員の対応も親切、丁寧で有難い。</p> <p>贅沢なことではあるが、館内で閲覧読書する際、もっとリラックスできるようなスペースを確保し、ソファなどがあり、コーヒーなど喫茶も提供出来るようなことを県内で先駆けて取り組んでほしい。文化面で県の最先端をいくというのも素晴らしい事だと思える。</p> <p>近年の夏の猛暑に対応して図書館もしくはその他のスペースを広く学習室として開放してほしい。「おとうさんおはなし会」の開催は好評である。回数を多く出来ないか。</p> <p>雑誌スポンサー制度はおもしろい試みだと思うが、1社のみ参加とは残念だ。これからPRに力を入れてほしい。</p>												
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分												
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>研修などを通じ司書の能力を高めていく。</p> <p>喫茶コーナーの設置は難しいが今後も利用しやすい雰囲気を創出していく。</p> <p>学習室の設置は無理であるが子ども達に学習スペース（三日月館・小城館）を提供したい。</p> <p>おとうさんおはなし会の回数を増やすよう努める。</p> <p>雑誌スポンサー制度のPRに努めていく。</p>												

平成28年度 事業評価表		主管課	生涯学習課	事業番号	25
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実			区 分	<input type="checkbox"/> 新規
施策名	6. 生涯スポーツの充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	1. スポーツ施設の整備充実・有効活用				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	安全・安心でより快適に使用できるよう、また、体育施設が地域のスポーツ活動拠点となるように必要な整備を行った。				
平成28年度における事業の目標	利用者の視点に立ったサービスや利便性の向上及び誰もが利用しやすい施設の整備を行う。				
平成28年度における取り組み状況等	<p>(1) 小城体育センター 自動火災報知設備修繕、AED 取替</p> <p>(2) 三日月体育館 改修工事（工事監理業務委託含む）</p> <p>(3) 牛津体育センター バレーボール用金具取替</p> <p>(4) 芦刈文化体育館 誘導灯取替、バレーボール用埋設管修繕、トイレ修繕</p> <p>サッカーゴール 1 対購入</p> <p>● 社会体育施設指定管理（平成28年度～32年度）（一財）小城市体育協会</p> <p>三日月体育館の大規模改修工事の施工により、利用者が施設を安全で安心して利用できるように改善できた。また、子ども用のミニバスケットボールのゴール設置や卓球場のネットの高さ調節により、新たな利用者の増が見込まれる。</p>				
平成28年度の課題と反省点	今後も経年劣化による施設の改修及び誰もが利用しやすいUD化が必要である。				
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				
評価委員会による評価	<p>少なく限られた予算で「小城体育センター」「三日月体育館」「牛津体育センター」「芦刈文化体育館」などの整備充実が計画的に進められている。</p> <p>利用者が施設を安全で安心して利用できるように今後も引き続き改善し、新たな利用者の増を図って欲しい。当然 UD 化は必要だと思う。</p> <p>一般市民に広くPRし、市も、体育協会の監督、連絡調整を更に密に行う必要がある。</p>				
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>今後も予算の範囲内において、利用者が体育施設を安全・安心でより快適に使用できるよう計画的に体育施設の維持管理を行っていく。</p> <p>また、体育協会やスポーツ推進委員等と連携を図りながら、施設やスポーツ教室のPRを行い、利用につなげていく。</p>				

平成28年度 事業評価表		主管課	生涯学習課	事業番号	26
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実			区 分	<input type="checkbox"/> 新規
施策名	6. 生涯スポーツの充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	2. スポーツ団体、指導者の育成				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	<p>スポーツ団体への支援や体育協会の育成強化に努め、競技力の向上や市民の健康増進の向上のため、研修会・講習会等の実施。</p> <p>また、市民のスポーツ活動に専門的な指導や助言ができるよう、スポーツ推進委員の育成と支援。</p>				
平成28年度における事業の目標	スポーツ団体及び指導者等を育成・支援し、生涯スポーツの振興を目指す。				
平成28年度における取り組み状況等	<p>1. 団体の育成 （一財）小城市体育協会を通じて市内各種スポーツ団体へ補助金の交付等を行い、各団体の強化に努めた。 ※ 県内一周駅伝大会 5年連続6回目の優勝 県民体育大会 総合第3位（初）</p> <p>2. 指導者の育成 （1）小城市スポーツ推進委員活動に関しては、社会体育係並びに各公民館と連携・協力し各種社会体育事業の推進に向け取り組んでいる。県、市、九州地区単位での研修にも積極的に参加している。 ※ 研修会数 8回 参加延べ人数 173人</p> <p>（2）少年少女スポーツクラブ指導者等講習会を開催し、指導者及び保護者・スポーツ推進委員が参加した。今後の講習会の内容や参加者増を目指すためアンケートを実施した。</p>				
平成28年度の課題と反省点	<p>1. （一財）小城市体育協会において、地区体育協会も含め、組織の強化・充実への支援が課題である。</p> <p>2. 小城市スポーツ推進委員の協議会を設けているが、より一層の連携を図っていくことが望まれる。また、各種研修・諸活動を通して更なる資質の向上と活動の推進を図る必要がある。</p> <p>3. 少年少女スポーツ指導者講習会の参加者について、平成28年度は大幅に増えたので、次年度も同様に参加してもらえる取り組みを行う。 講習会 参加者数 H28 55人（H27 21人） 対象人数 100人超</p> <p>4. 平成26年度小城市社会教育委員の会で作成された「小城市少年少女スポーツ活動の指針」について、更に周知を図っていく必要がある。</p>				
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				
評価委員会による評価	<p>各種スポーツ団体への補助金交付は各団体の強化・育成に成果を上げている（県内一周駅伝大会5年連続6回目の優勝、県民体育大会総合第3位（初））。小城市スポーツ推進委員活動に関しては、県、市、九州地区単位での研修にも積極的に参加している（研修会数8回、参加延べ人数173人）。各スポーツ団体への支援や育成が実を結んでいると思う。</p> <p>小城市における専門的な団体競技等の躍進はめざましいものがあるが、一般住民の社会体育の充実についても一層の努力をお願いしたい。</p> <p>少年少女スポーツクラブ指導者等講習会でのアンケートは一步前進。これを分析し、今後の活動に活かして欲しい。</p>				
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				

評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>体育協会への支援等を通じ、競技スポーツの競技力向上のみならず、市民のスポーツ活動を推進していくため、スポーツを始めるきっかけづくりに努めていく。</p> <p>市民が身近にスポーツに触れることができる機会を事あるごとにPRし、参加を促していく。</p> <p>また、住民主体による活動も必要であり、活動を促進しながら地域のスポーツ活動に対する支援に努めていく。</p> <p>講習会では引き続きアンケートを行い、受講者のニーズを踏まえた講習会を開催していく。</p>
--------------------------	--

平成28年度 事業評価表		主管課	生涯学習課	事業番号	27																																								
基本方針	4. 豊かな生涯学習の推進とスポーツの充実	区分			<input type="checkbox"/> 新規																																								
施策名	6. 生涯スポーツの充実				<input checked="" type="checkbox"/> 継続																																								
基本事業名	3. 幅広いスポーツ活動の普及推進				<input type="checkbox"/> 完了																																								
平成28年度における事業の概要	<p>各種スポーツ情報の収集・提供を行い、市民のスポーツへの関心や健康管理意識を高めていくとともに、各種スポーツ行事等の内容の充実と生涯にわたる幅広いスポーツ活動の普及の積極的な推進を行う。</p>																																												
平成28年度における事業の目標	<p>スポーツに対する意識の向上と体力に応じたスポーツ機会の充実を目指す。</p>																																												
平成28年度における取り組み状況等	<p>1. スポーツ推進委員の設置 46人</p> <p>2. スポーツサポーターの配置 行政区単位 173人（清水、大塚、石体、門前、西小路、赤司、土生を除く）</p> <p>3. サガン鳥栖交流事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">内 容</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育園・幼稚園サッカー教室（園）</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">参加者数（人）</td> <td>93</td> <td>127</td> <td>98</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>少年サッカー教室参加人数（人）</td> <td>63</td> <td>98</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>中学生サッカー教室参加人数（人）</td> <td>92</td> <td>109</td> <td>108</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>試合観戦者数（人）</td> <td>576</td> <td>500</td> <td>394</td> <td>389</td> </tr> <tr> <td>夢先生授業（回）</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>サガン鳥栖ホームゲーム前座試合</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					内 容	H25	H26	H27	H28	保育園・幼稚園サッカー教室（園）	3	6	3	3	参加者数（人）	93	127	98	90	少年サッカー教室参加人数（人）	63	98	-	-	中学生サッカー教室参加人数（人）	92	109	108	90	試合観戦者数（人）	576	500	394	389	夢先生授業（回）	1	1	-	-	サガン鳥栖ホームゲーム前座試合	-	-	1	1
内 容	H25	H26	H27	H28																																									
保育園・幼稚園サッカー教室（園）	3	6	3	3																																									
参加者数（人）	93	127	98	90																																									
少年サッカー教室参加人数（人）	63	98	-	-																																									
中学生サッカー教室参加人数（人）	92	109	108	90																																									
試合観戦者数（人）	576	500	394	389																																									
夢先生授業（回）	1	1	-	-																																									
サガン鳥栖ホームゲーム前座試合	-	-	1	1																																									

平成28年度における取り組み状況等	4. 社会体育分野における全国競技大会等出場奨励事業																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数 (件)</td> <td>108</td> <td>67</td> <td>92</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>人数 (人)</td> <td>304</td> <td>238</td> <td>258</td> <td>237</td> </tr> <tr> <td>補助額 (円)</td> <td>2,814,000</td> <td>1,870,000</td> <td>2,009,000</td> <td>2,214,000</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	H28	件数 (件)	108	67	92	74	人数 (人)	304	238	258	237	補助額 (円)	2,814,000	1,870,000	2,009,000
	H25	H26	H27	H28																
件数 (件)	108	67	92	74																
人数 (人)	304	238	258	237																
補助額 (円)	2,814,000	1,870,000	2,009,000	2,214,000																
平成28年度の課題と反省点	5. あしかりはーとクラブ（総合型地域スポーツクラブ）の支援																			
	6. （一財）小城市体育協会への補助（県内一周駅伝大会・芦刈ムツゴロウロードレース大会・観桜大会・競技団体活動助成・地域体協育成）及び大会委託（市民体育大会・県民体育大会）、夏季休業中の学校施設プール開放事業に対するプール監視警備員配置補助を実施（8小学校PTA・育友会）																			
	7.各公民館主管、支援の各種スポーツ大会（町民ソフトボール大会・ミニバレーボール大会・綱引き大会・子ども相撲大会・芦刈ムツゴロウロードレース大会）																			
	8. ARK宣言 市内一斉ラジオ体操会実施																			
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分																			
評価委員会による評価	<p>生涯にわたってスポーツに親しめる環境を身近な地域に整えるために、「市民主体」によって運営されるシステム「総合型地域スポーツクラブ」が必要であるが、現在、芦刈地区のみに設立されている。芦刈地区のあしかりはーとクラブについては、自立支援が求められるが、主体となる役員が退会されるなど、存続のための支援が必要となっている。その他の地区については、スポーツ推進委員主体での動きはあるが、進んでいない。</p> <p>また、ARK宣言による、ウォーキングやラジオ体操の普及、策定したスポーツ推進計画に基づく事業展開が必要である。</p>																			
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分																			
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>今後も継続して、幅広いスポーツ活動の普及推進や必要な支援を行っていく。</p> <p>「総合型地域スポーツクラブ」については、調査・研究を進めるとともに、進展しない原因を分析し、推進に力を入れていく。</p> <p>ARK宣言の周知については、より身近に感じてもらうため、ラジオ体操の佐賀弁 Ver.を使用することは有効と考えられるため、提案していく。</p>																			

平成28年度 事業評価表		主管課	文化課	事業番号	28
基本方針	5. 多彩な文化の振興と伝統文化の継承	区 分	<input type="checkbox"/> 新規		
施策名	7. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用		<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
基本事業名	1. 芸術・文化団体、指導者の育成		<input type="checkbox"/> 完了		
平成28年度における事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興団体活動の育成・支援 ・発表機会の創出 				
平成28年度における事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能の保存継承、創作芸能の保存継承、郷土史の研究継承、歴史上の人物偉業の継承、青少年の文化活動を行う文化振興団体への支援を行う。 ・貴重な伝統行事・文化を絶やすことなく後世に伝えていくとともに、発表の場を提供し、多くの方に郷土に対する理解と関心を高めていく。 				
平成28年度における取り組み状況等	<p>伝統芸能・創作芸能団体の活動を支援した。活動発表では平成28年7月23日・24日に小城山挽祇園700年祭にて「三日月龍王浮立保存会」「芦刈音頭保存会」「牛津宿場華太鼓保存会」、平成28年10月2日に小城町民体育大会にて「小城太鼓」が発表する機会を提供した。</p> <p>■補助団体 平成24年度19団体、平成25年度17団体、平成26年度17団体 平成27年度17団体 平成28年度16団体</p>				
平成28年度の課題と反省点	<p>(1) 文化振興団体の活動活性化のために今後も発表の場を確保していく必要がある。</p> <p>(2) 団員不足や指導者の不在等が活動に支障をきたしている。打合せや会議での情報交換や個別の聞き取りを行い、問題点を把握し、課題を克服していく必要がある。</p>				
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				
評価委員会による評価	<p>郷土芸能の保存継承、創作芸能の保存継承、郷土史の研究継承、歴史上の人物偉業の継承、青少年の文化活動を行う文化振興団体16団体への支援を行い、小城山笠祇園700年祭、小城町民体育大会を発表の場としたことは大変いいことだと思うが、年々数が減少しているのが気になる。団員不足や指導者不在等の問題点を把握し、解決して欲しい。</p> <p>昔からの伝統文化を継承して行くことは困難なことであるが、住民の理解を得ながら貴重な伝統行事・文化を絶やすことなく後世に伝えていくとともに、発表の場を提供し、多くの市民に郷土に対する理解と関心を高めて欲しい。また、子ども達へも郷土の文化、芸能、芸術への関心を高めてほしい。</p>				
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>今後も発表機会を設けるとともに、市報やホームページなどで郷土芸能・創作芸能団体の活動をPRし、団員の確保をめざす。</p> <p>高度芸術鑑賞事業も継続して実施していく。</p>				

平成28年度 事業評価表		主管課	生涯学習課	事業番号	29
基本方針	5. 多彩な文化の振興と伝統文化の継承			区 分	<input type="checkbox"/> 新規
施策名	7. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	2. 多様な芸術・文化の鑑賞機会、発表機会の充実				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	文化祭をはじめ、魅力ある文化行事の企画・開催を市民との協働のもとに進め、多様な芸術・文化を鑑賞する機会と活動成果を発表する機会の充実を図った。				
平成28年度における事業の目標	文化活動が活発な地域性を活かし、市民主体の芸術・文化活動のより一層の活性化を促進する。				
平成28年度における取り組み状況等	<p>1. 小城市文化連盟による発表の場の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小城市民文化祭 文化連盟と連携を図りながら各地区で、特色ある作品、芸能が披露された。その中で、三日月では公民館と文化連盟との協働作業がより深く進んだ。 ・ふれあい芸能まつり 全市一同に会した芸能の発表の場として定着した。 ・小城街道ひなまつり 春の伝統行事ひなまつりを市民参加型の事業として各町同時開催。 ・観月会 秋のお月見とあわせ、小城町地区以外の3地区で、趣向をこらした発表の場となっている。但し牛津は台風接近のため中止となった。 ・小城美術工芸展 小城支部による多彩な美術展 ・陶八祭 市内の陶芸サークルによる作品を一同に集め展示していたが、平成27年度は開催が見送られ再度検討されたが、実施しないことが決定された。 <p>2. 小城市文化連盟による文化活動振興 文化活動への参加のきっかけのため、各支部で「体験講座」が開催されている。</p>				
平成28年度の課題と反省点	小城市文化連盟の組織体制について、部会を設けて活動する等充実しているが、自立を意識した支援が必要である。その中で、役員の負担感を感じる意見等も出ているため、支援の在り方の検討が必要である。				
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				
評価委員会による評価	<p>小城市文化連盟が部会を設けて活動し、発表の場として「小城市民文化祭」「ふれあい芸能まつり」「小城街道ひなまつり」「観月会」「小城美術工芸展」を開催したことは評価できる。また、「体験講座」など市民主体の芸術・文化活動でより一層の活性化が図られている事は大いに評価できるが、支部の役員が負担を感じており、支援の在り方の検討が必要である。</p> <p>小城市文化連盟は、とても高い水準にあるが、さらに発展するとともに、多くの文化団体の参加、構成員の増加をはかってほしい。</p>				
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	文化連盟と生涯学習課との意見交換を密にしながら、自立に向けて支援していく。また新たな団体登録制度を活用しながら、文化連盟への加入に促していく。				

平成28年度 事業評価表		主管課	文化課	事業番号	29
基本方針	5. 多彩な文化の振興と伝統文化の継承	区 分	<input type="checkbox"/> 新規		
施策名	7. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用		<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
基本事業名	2. 多様な芸術・文化の鑑賞機会、発表機会の充実		<input type="checkbox"/> 完了		
平成28年度における事業の概要	高度芸術鑑賞事業の実施				
平成28年度における事業の目標	年2回の高度芸術の鑑賞事業を行い市民の皆さまへ鑑賞していただく。				
平成28年度における取り組み状況等	<p>市報8月号に、募集記事を掲載し、応募団体と打合せを行い2団体に委託した。</p> <p>●12月4日(日) 「薩摩琵琶演奏会」 会場：牛津赤れんが館 入場者：150名 牛津赤れんが館に委託。北原加奈子氏による薩摩琵琶演奏会を開催。近隣の施設に相談し駐車場を確保した。</p> <p>●12月18日(日) 「原佳大ピアノリサイタル～モーツァルト生誕200年によせて～」 会場：日本福音ルーテル教会 来場者：約62名 The Little Salon1341に委託。原佳大氏によるピアノリサイタルを開催。リサイタルには小城高校合唱部も特別出演した。駐車場は小城公園周辺を利用した。</p> <p>■開催実績 平成24年度 座長大会263人(12/9) 赤れんが館、能楽163人(11/24) 三里小学校 平成25年度 三遊亭竜楽独演会 138名(11/3)、早春のヴァイオリン300名(1/26) 平成26年度 神田紅独演会 150名(12/13)、愛のヴァイオリンさくらいぶコンサート 120名(3/15) 平成27年度 ジャズコンサート 170名(11/29)、小城さくらいろコンサート 50名(3/27)</p>				
平成28年度の課題と反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーテル小教会や赤れんが館で鑑賞事業を行ったが来場者の駐車場や会場の広さや利用しやすさなど課題もあった。今後は駐車場の確保や広さなど考慮しつつ、事業内容の検討を行う。 				
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				
評価委員会による評価	<p>民間へ委託し、高度芸術鑑賞事業を年度毎に内容を変えて2回開催し、入場者も例年通り多数確保している。普段、生で演奏される音楽や舞台公演に接する機会が少ないが、情緒や風情があって市民としてはありがたい事業だと感謝したい。市民が高度な芸術に触れる機会がある事はとても有意義な事なのでぜひ続けて欲しい。</p> <p>開催場所については4町それぞれの地域での開催を望む。反省点にあった駐車場の問題等随時解決していただきたい。</p>				
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分				

評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	平成29年度以降も市民の皆さまが高度芸術を鑑賞できる機会を創出していく。実施にあたっては民間に委託する。4町それぞれでの開催や駐車場の確保にも努めていく。
--------------------------	---

平成28年度 事業評価表		主管課	文化課	事業番号	30
基本方針	5. 多彩な文化の振興と伝統文化の継承	区分			<input type="checkbox"/> 新規
施策名	7. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	3. 文化財の保存・活用				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	(1) 小城屋根のない博物館事業の実施 (2) 文化財の指定 (3) 土生遺跡公園祭りの実施 (4) 埋蔵文化財の調査 (5) 歴史的建造物活用事業				
平成28年度における事業の目標	指定文化財の適切な保護・保存、未指定文化財の調査を行い、指定、整備を進めるとともに観光との連携という視点に立ち、「小城屋根のない博物館構想」に基づき、説明板の整備など文化財の一体的な整備・活用を推進する。				
平成28年度における取り組み状況等	(1) 小城屋根のない博物館事業の一環として、本年度は市内に所在する文化財等7件に説明板や案内板の設置を行った。既存の1件の盤面張替、1件の移設を行った。11月19日(土)に牛津町内でえびすウォーク、3月11日(土)小城町内で文化財ウォーキングを開催した。 (2) 「土遺跡出土 いろは歌墨書土器」の市重要文化財指定を行った。 (3) 10月22日(土)に第6回となる土生遺跡公園まつりを開催した。雨天のため、小城文化センターで開催したが児童・生徒を主な対象として土偶づくりや古代食体験を行い好評を得た。子ども、保護者を含め80人以上の参加があった。市民学芸員の協力を得た。完成した土偶は12月9日(金)～25日(日)にかけて歴史資料館企画展示室で展示を行った。 (4) 市内の諸開発に伴い埋蔵文化財の確認・試掘調査を行い、開発と文化財保護の調整を行った。本年度は2件の本調査と1件の調査報告書作成を行った。出土資料の保管スペースは未だ不足しているものの、整理済の資料については順次、織島倉庫他へ移管作業を行った。 (5) 地方創生加速化交付金を活用し、引き続き歴史的建造物活用事業を実施し、市内に残る武家屋敷をカフェ・ギャラリーとして活用した。 ■案内板・説明板設置個所 平成22年度2件 平成23年度9件 平成24年度9件 平成25年度4件 平成26年度7件 平成27年度5件 平成28年度7件(総数64件) ■指定・登録文化財件数 国4件 県23件 市48件 国登録8件 ■発掘調査件数・報告書作成数 平成22年度1件・6冊 平成23年度4件・0冊、 平成24年度5件・1冊 平成25年度6件・3冊 平成26年度3件・4冊 平成27年度1件・5冊 平成28年度2件・1冊				

平成28年度の課題と反省点	<p>(1) 説明板・案内板の設置や2回のウォーキングなどで文化財のPRを行った。見学者が他の所へ足を運べるようなルートづくりが必要である。地域の文化財の重要性を伝える機会が不足している。</p> <p>(2) 市内にはまだまだ調査や保存・整備が必要な文化財が数多く存在しており、保存や活用を目的とする各団体等と連携して調査を行う。また、市にとって重要な位置を占める遺跡は保存や整備を検討する。</p> <p>(3) 埋蔵文化財の発掘調査は各種事業が円滑に進むよう、事業実施者と十分な調整を図る必要がある。</p> <p>(4) 発掘調査による出土遺物、民俗資料の一元管理・場所の確保が課題である。</p> <p>(5) 歴史的建造物事業は継続2年目で集客、情報発信など大きな効果あった。</p>
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価委員会による評価	<p>「文化財等7件に説明板や案内板の設置及びウォーキングでのPR」「社遺跡出土 いろは歌墨書土器」の市重要文化財指定、「土生遺跡公園まつり」の開催、「埋蔵文化財の確認・試掘調査(2件の本調査と1件の調査報告書作成)」、地方創生加速化交付金を活用した「歴史的建造物活用事業」など、貴重な文化財の保護・保存についてはよく努力がなされていると思う。説明板や案内板の設置なども漸次多くなり、住民や外来者にも市内文化財理解の一助となっている。しかし、貴重な文化財が身近にあるが、市民の関心は、まだまだ希薄なのが実情のようである。意識を高揚させる手立てが望まれる。今回文化財指定された「いろは歌墨書土器」のニュースも知っている人はほとんどいないようである。これらの面白いイラストマップ等を作成し、公民館や駅等で配布し、市民の一層の関心、愛着を深めてもらうよう啓発活動が望まれる。子ども達へのふるさと教育にも活用できるのではと考える。</p> <p>赤れんが館の有効利用を望む。(2階エアコンは設置場所や形など景観を損なってしまっていて残念に思う。)</p>
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>小城屋根のない博物館構想に基づき説明板の設置やウォーキングなどを通じ、市内の文化財の啓発・保護・活用を今後も進めていく。市報やホームページでの紹介も行う。</p> <p>土生遺跡公園まつり・市内遺跡発掘調査成果展なども継続して開催する。</p> <p>わかりやすいイラストマップの作成を検討する。</p> <p>牛津赤れんが館や牛津会館の有効利用は牛津のまちづくり団体と連携しながら進めていく。</p>

平成28年度 事業評価表		主管課	文化課	事業番号	31
基本方針	5. 多彩な文化の振興と伝統文化の継承			区分	<input type="checkbox"/> 新規
施策名	7. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
基本事業名	1. 書にふれる機会の充実				<input type="checkbox"/> 完了
平成28年度における事業の概要	<p>(1) 中林梧竹翁顕彰席書大会の開催</p> <p>(2) 書に親しむ日の開催</p> <p>(3) 中林梧竹記念館の運営</p> <p>(4) 梧竹デジタルミュージアムの公開</p>				

平成28年度における事業の目標	書聖中林梧竹を生んだ小城市として、多くの市民の皆さんへ書に対する関心と書に親しんでもらうために誰でも参加できる「書に親しむ日」を実施する。また、毎年7月には席書大会を中林梧竹翁顕彰会に委託して開催し、書にふれる機会の充実を図る。
平成28年度における取り組み状況等	<p>(1) 中林梧竹翁顕彰会に委託し、平成28年7月に「第27回書聖中林梧竹翁顕彰席書大会」を開催した。参加者490人</p> <p>(2) 「書に親しむ日」は2月19日に小城街道ひなまつり小城会場ゆめぶらっとで開催した。カレンダー・うちわ・はがき・エコバックに字を書く体験を実施した。参加者180人</p> <p>(3) 中林梧竹記念館において収蔵品の梧竹作品を展示した。4回展示替えを行い、各回約40点を展示した。</p>
平成28年度における取り組み状況等	<p>(4) 梧竹デジタルミュージアムを市ホームページ上に公開した。公開するにあたり7回検討会を行った。 公開作品数455点。閲覧件数92,158件(H29.3.31現在)</p> <p>■実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 書聖中林梧竹翁顕彰席書大会 平成24年度526人 平成25年度464人 平成26年度452人 平成27年度(台風接近のため中止) ○ 書に親しむ日 平成24年度220人 平成25年度318人 平成26年度207人 平成27年度148人
平成28年度の課題と反省点	<p>(1) 梧竹記念館の入場者数が減少している。地元小・中学校との梧竹顕彰の連携が課題である。</p> <p>(2) 梧竹デジタルミュージアムの充実・拡大が必要である。</p>
自己評価	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価委員会による評価	<p>「中林梧竹翁顕彰席書大会の開催」「書に親しむ日の開催」「中林梧竹記念館の運営」「梧竹デジタルミュージアムの公開」は例年開催し、よく努力がなされている。梧竹デジタルミュージアムをインターネットで閲覧すると、作品がよく理解できるようになっており、よい試みだと思う。しかし、市民の梧竹翁に関する認識度や関心はまだ低調である。継続的な啓発PRが必要である。参加者の経年変化を見ながら対策を講じて欲しい。</p> <p>小城市南部地区(牛津・芦刈)は梧竹さんへの関心は薄いように感じる。学校関係と協力し、低学年のうちにミュージアムの観覧をしてはどうだろうか? 小城市の偉人として中林梧竹という宝がある事を子ども達にもっと知ってほしいと思うし、その工夫を検討して欲しい。</p>
評価判定	A 達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分
評価を踏まえた平成29年度以降の取り組みの方向性	<p>中林梧竹翁の顕彰を中林梧竹翁顕彰会と連携しながら継続していく。</p> <p>梧竹デジタルミュージアムの拡充・充実を進める。</p> <p>梧竹記念館の見学を小・中学校に呼びかけていく。</p> <p>市内各地ごとに中林梧竹との関わり交えた親近感のある展示などを行う。</p>

**平成 29 年度（平成 28 年度事業）
小城市教育委員会の事務に関する
点検・評価報告書**

発行 平成 29 年 9 月

小城市教育委員会 教育総務課

〒845-8511 佐賀県小城市三日月町長神田 2312-2

Tel(0952)37-6130 Fax(0952)37-6167

E-mail kyouikusoumu@city.ogi.lg.jp

